
登別市こどもの生活に関するアンケート
(保護者用)
報告書

令和6年10月

登別市

I 調査概要

1. 調査目的

本調査は、市民の皆様の日ごろの生活や子育てに対するご要望・ご意見、ニーズ、子育て世帯の生活状況等について把握し、令和6年度に策定するこども計画の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査地域

登別市内

3. 調査対象者

登別市在住のすべての小学5年生(満11歳)～18歳の保護者

4. 調査方法

小中学校での直接配布及び郵送発送、郵送回収及びWEB 回答による無記名回答方式

5. 調査期間

令和6年8月～9月

6. 配布件数・回収状況等

調査種類	対象者数	web 回答数	有効回答率
小学5年生～中学3年生 保護者用アンケート	1,572	564	35.8%
16歳以上保護者用 アンケート	1,136	280	24.6%

※web 回答数は、保護者が回答した家庭内の調査対象となるこどもの数を集計しています。

7. 集計上の留意点

①グラフ中の「N=」は、母数となるサンプル数(保護者の回答者数)を示しています。

②複数回答の設問は、すべての構成比(%)を合計すると100%を超える場合があります。

③保護者の回答数(サンプル数)は、家庭内に対象のこどもが複数いる場合、まとめて1回のみの回答としているため、web 回答数(保護者に対応するこどもの数)の合計より少なくなっています。

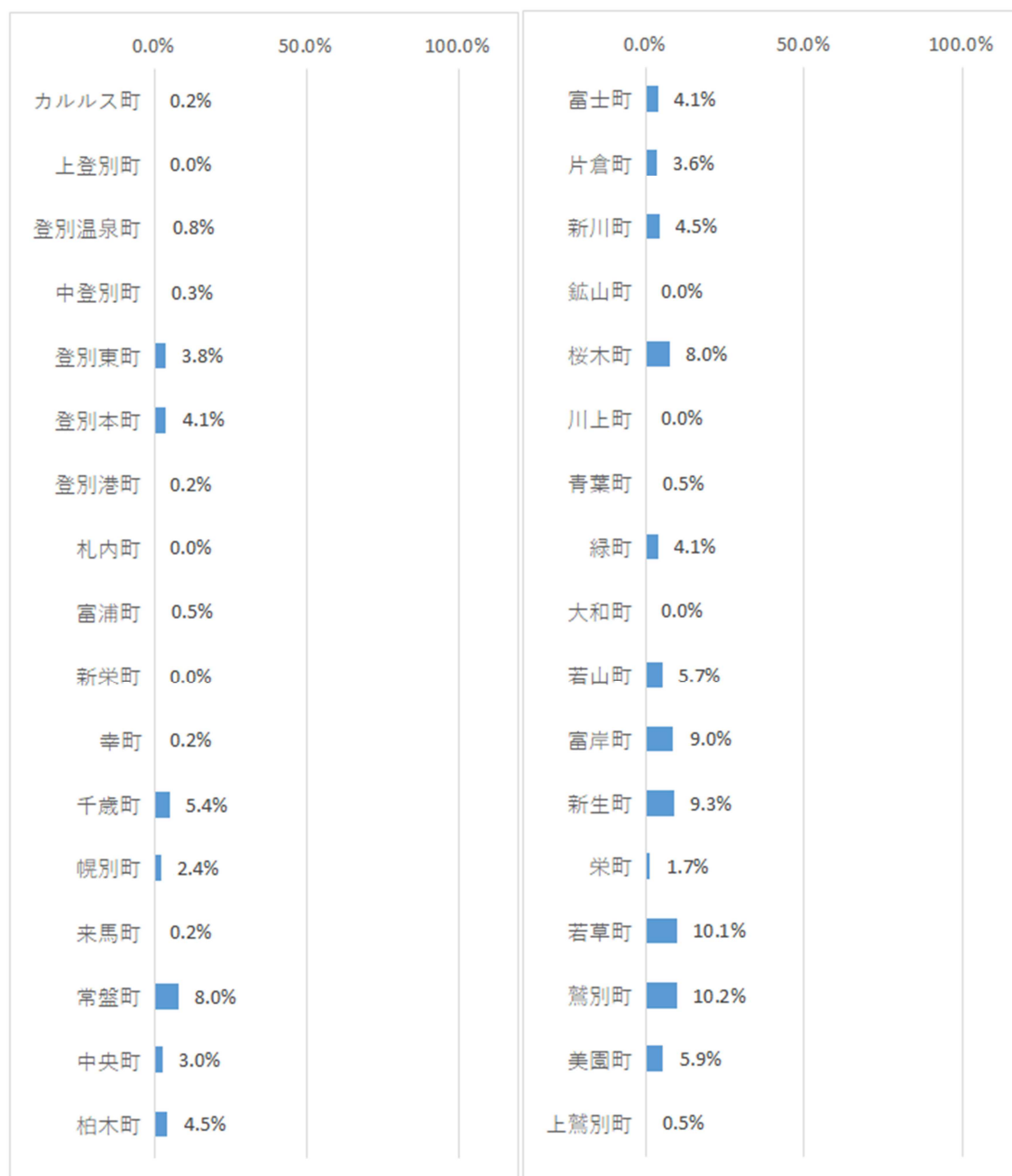
Ⅱ 調査結果

基本事項

お住まいの町名をひとつ選んでください。(問2)

居住地区についてみると、「鷺別町」が10.2%と最も高く、次いで「若草町」が10.1%、「新生町」が9.3%となっています。

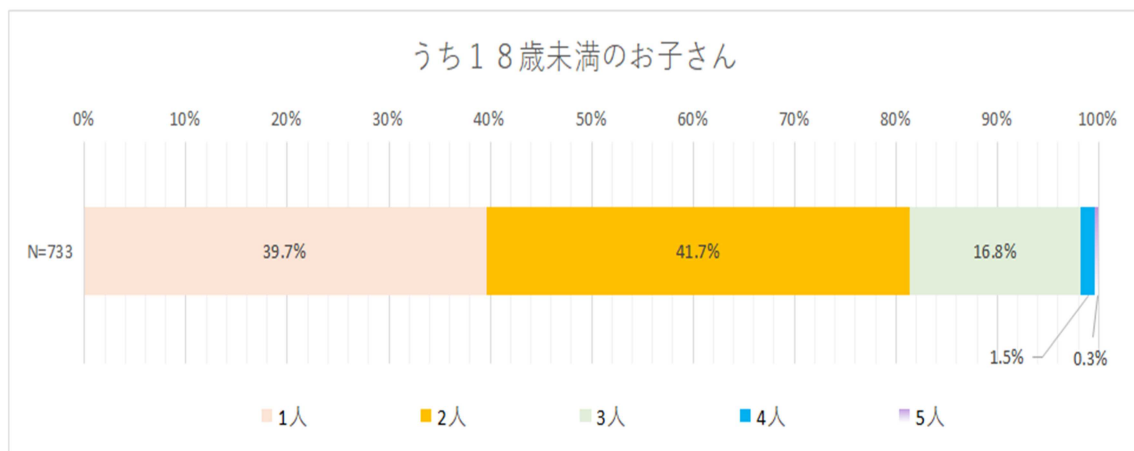
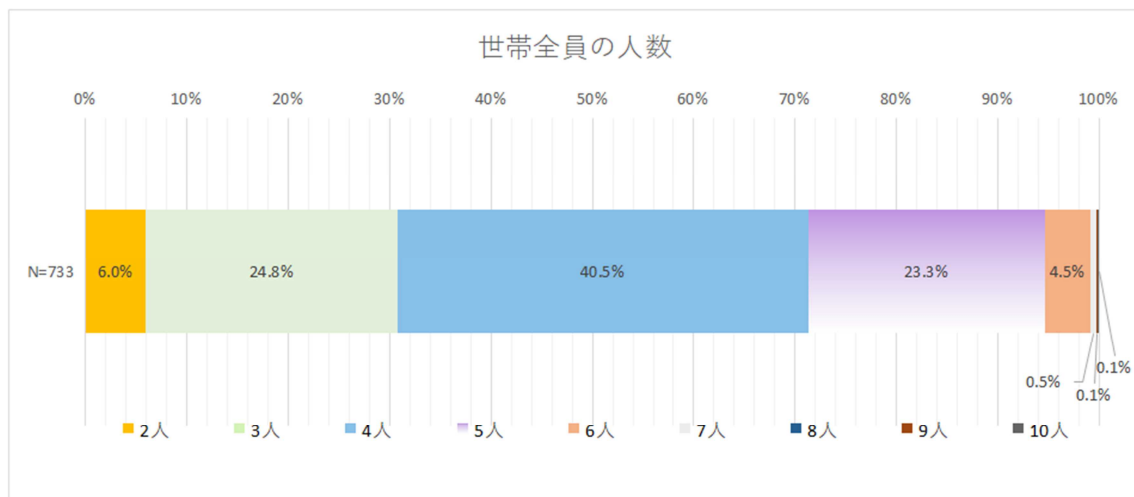
N=733



あなたの世帯は全員で何人いらっしゃいますか。(問3)

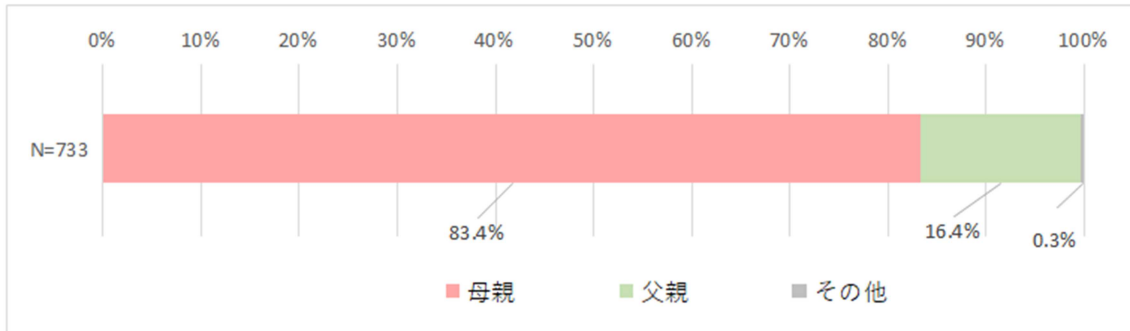
回答者の世帯全員の人数についてみると、「4人」が40.5%と最も高く、次いで「3人」が24.8%、「5人」が23.3%となっています。

18歳未満のお子さんの数についてみると、「2人」が41.7%と最も高く、次いで「1人」が39.7%、「3人」が16.8%となっています。



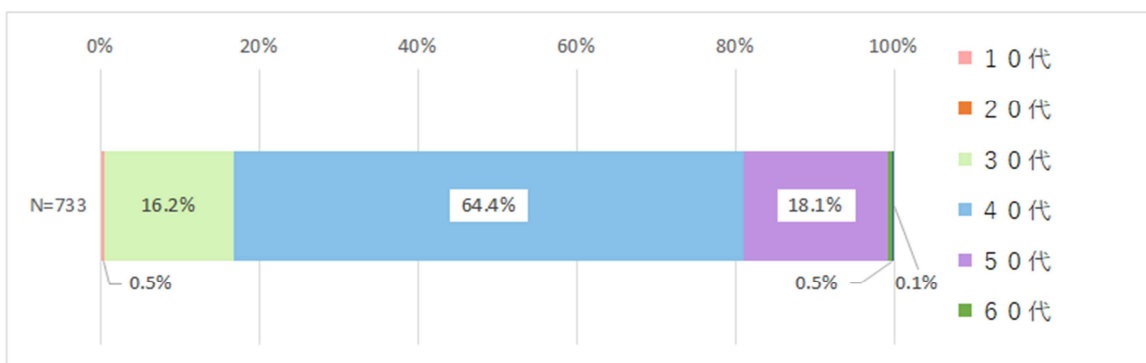
この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(問4)

回答者の続柄についてみると、「母親」が83.4%と最も高く、次いで「父親」が16.4%となっています。



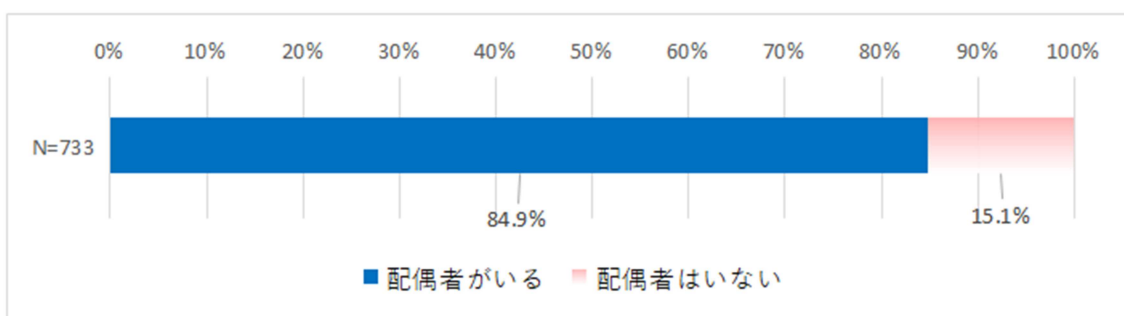
この調査票にご回答いただく方の年代をお答えください。(問5)

回答者の年代についてみると、「40代」が64.4%と最も高く、次いで「50代」が18.1%、「30代」が16.2%となっています。



この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(問6)

回答者の配偶関係についてみると、「配偶者がいる」が84.9%、「配偶者はいない」が15.1%となっています。

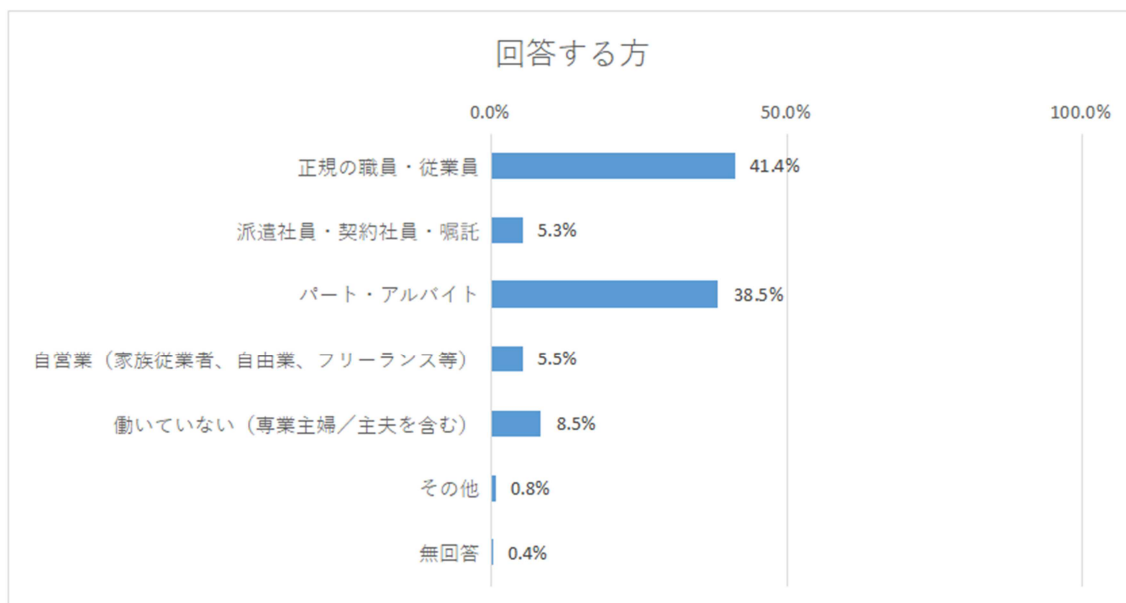


ご家庭の経済状況及び就労について

保護者の方の現在の働き方は次のどれにあてはまりますか。(問7)

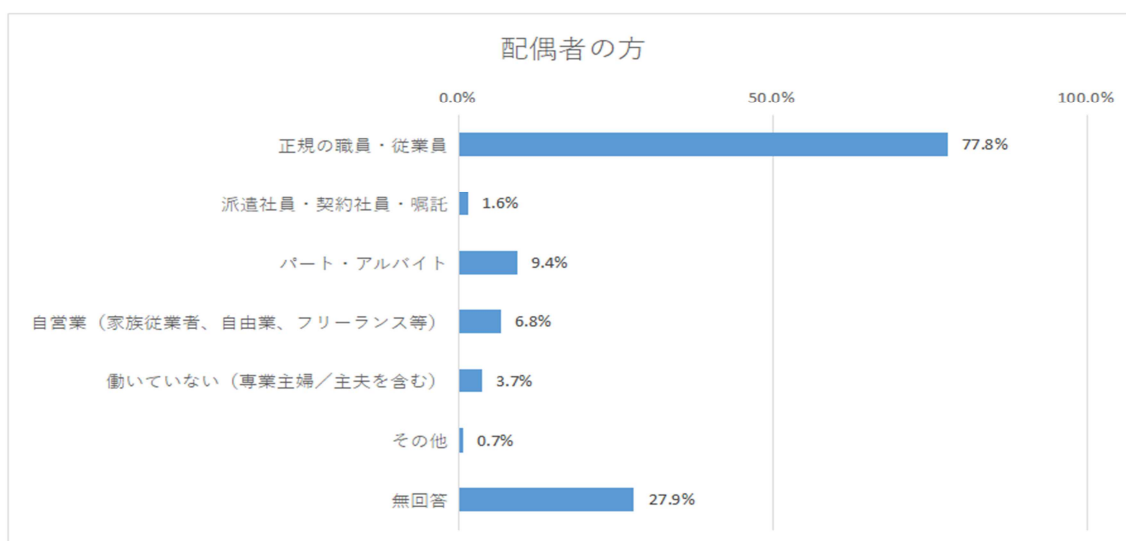
回答する方の現在の就労状況についてみると、「正規の職員・従業員」が41.4%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が38.5%、「働いていない(専業主婦/主夫を含む)」が8.5%となっています。

N=733



配偶者の方の現在の就労状況についてみると、「正規の職員・従業員」が77.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が9.4%、「自営業(家族従業者、自由業、フリーランス等)」が6.8%となっています。

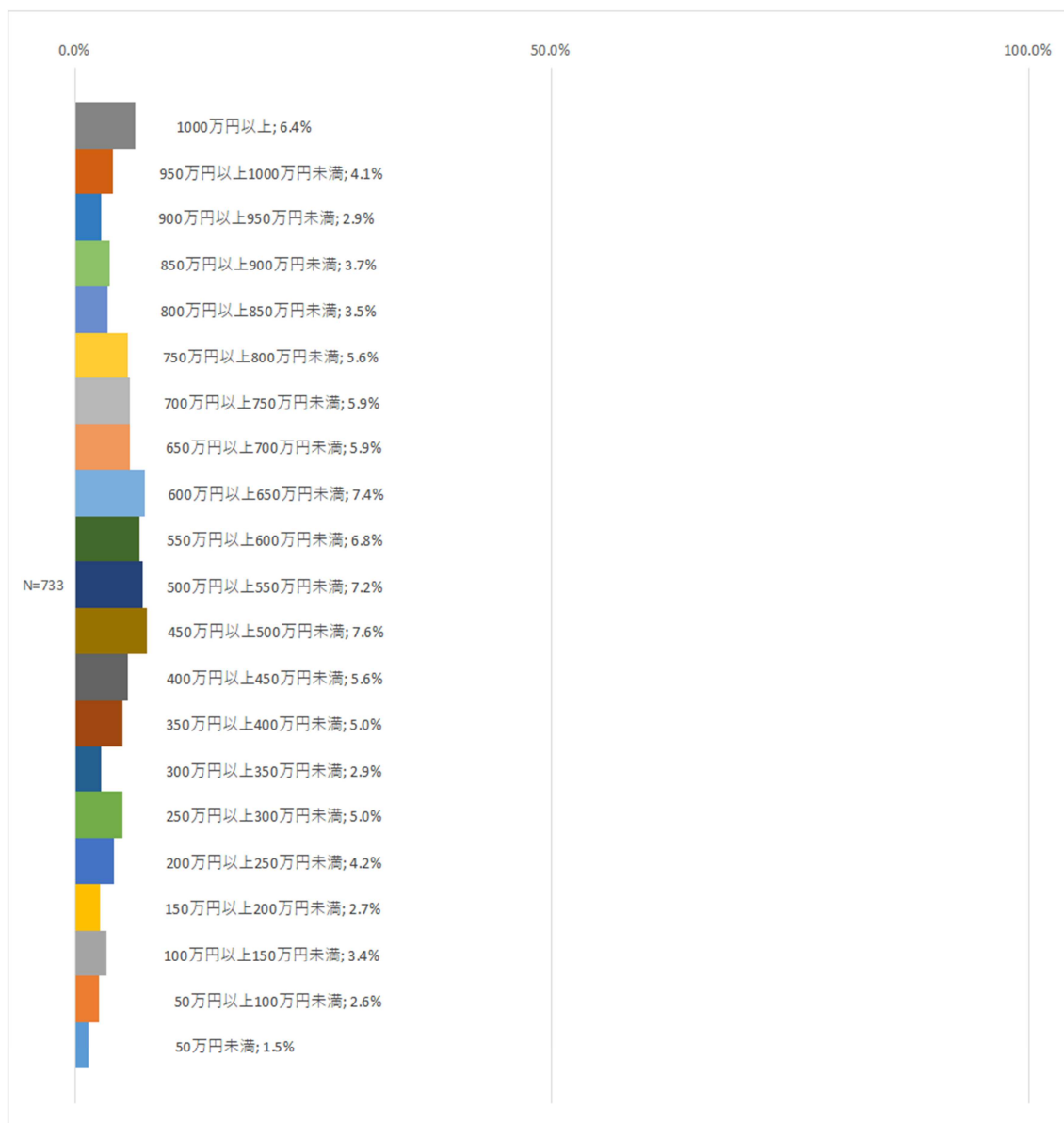
N=733



昨年(2023 年)のあなたのご家庭の年収(税込み)はいくらですか。(問8)

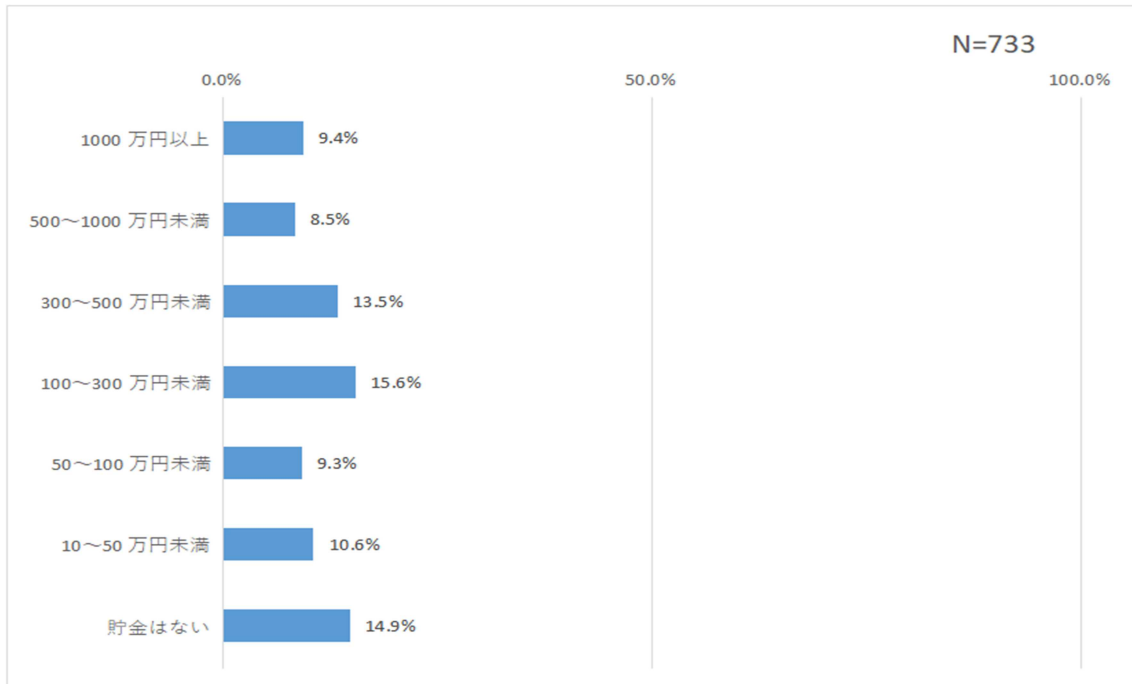
ご家庭の年収についてみると、「450 万円以上 500 万円未満」が7.6%と最も高く、次いで「600 万円以上 650 万円未満」が7.4%、「500 万円以上 550 万円未満」が7.2%となっています。

N=733



現在の貯金額はどのくらいですか。(ご家族の貯金すべての合計金額としてもっとも近いもの)(問9)

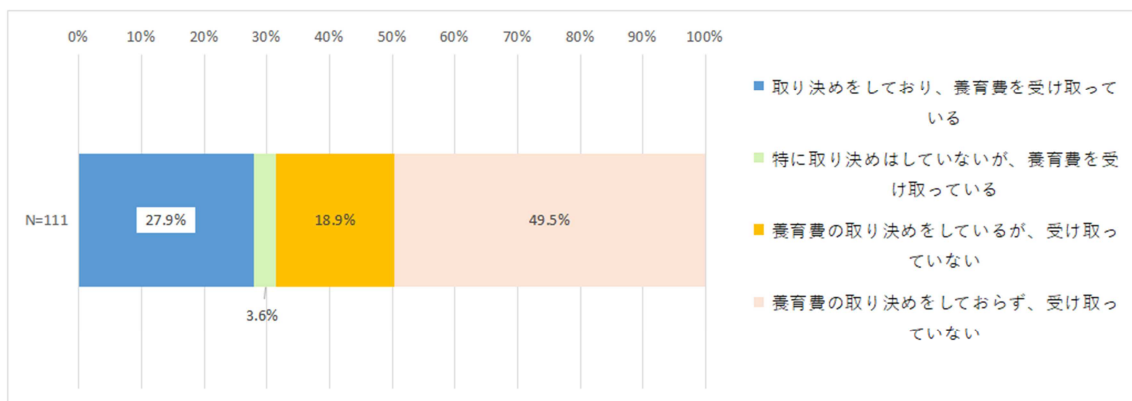
現在の貯金額についてみると、「100～300 万円未満」が15.6%と最も高く、次いで「貯金はない」が14.9%、「300～500 万円未満」が13.5%となっています。



※問6で「配偶者はいない」と回答した方に伺います。

お子さんの養育費の取り決めや受け取りについて、お答え下さい。(問10)

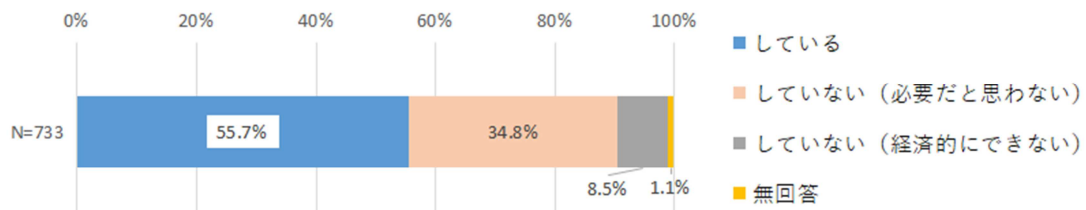
お子さんの養育費の取り決めや受け取りについてみると、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が49.5%と最も高く、次いで「取り決めをしており、養育費を受け取っている」が27.9%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」が18.9%となっています。



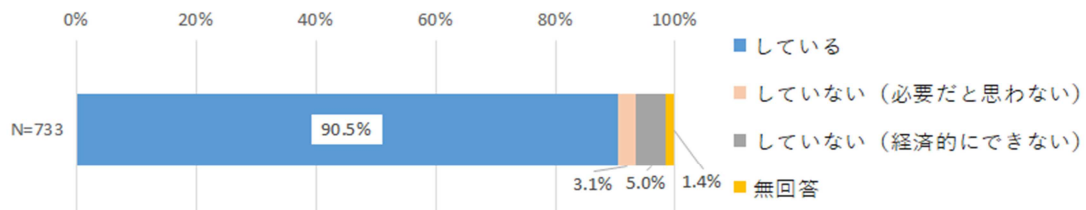
あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。(問11)

お子さんにしてあげていることについてみると、全ての選択肢において「している」の割合が最も高く、「毎年新しい洋服・靴を買う」「お誕生日のお祝いをする」「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」「医療機関を受診する」「学校行事などへ親が参加する」では9割台、「習い事(音楽・スポーツ・習字・学習塾等)に通わせる」「1年に1回くらい家族旅行に行く」では6割台、一番低い「毎月おこづかいを渡す」でも5割台となっています。

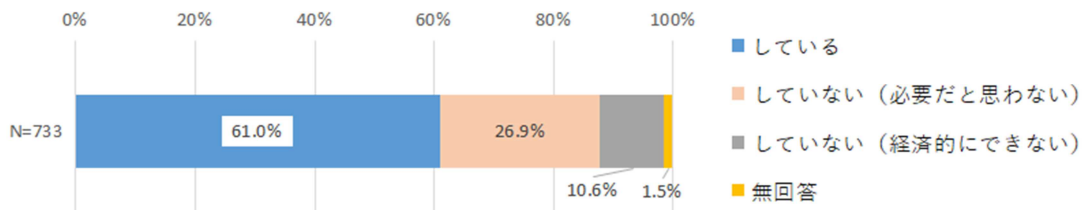
①毎月おこづかいを渡す



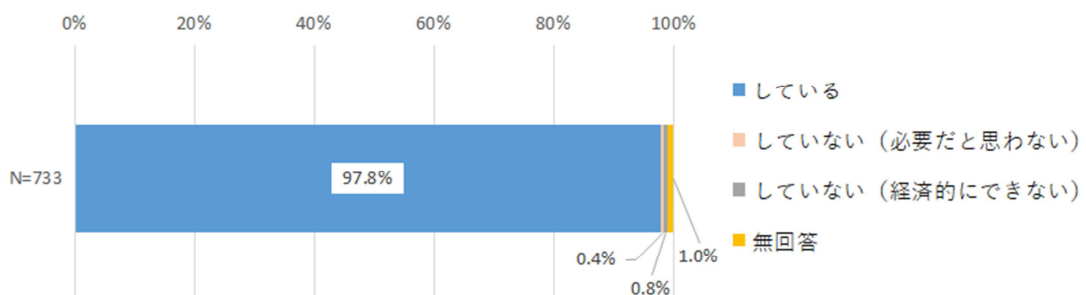
②毎年新しい洋服・靴を買う



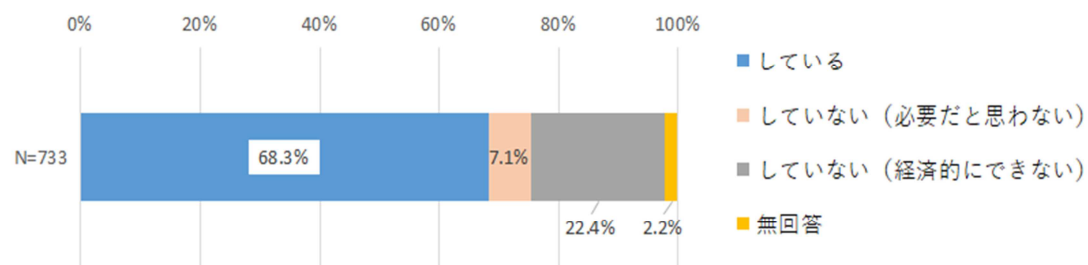
③習い事(音楽・スポーツ・習字・学習塾等)に通わせる



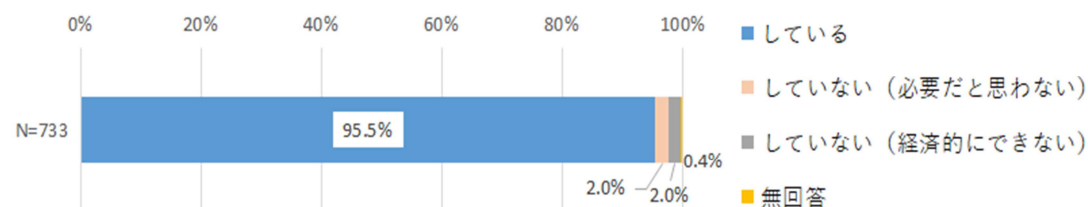
④お誕生日のお祝いをする



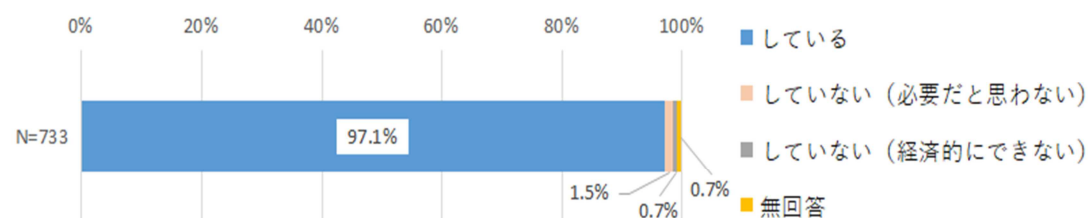
⑤1年に1回くらい家族旅行に行く



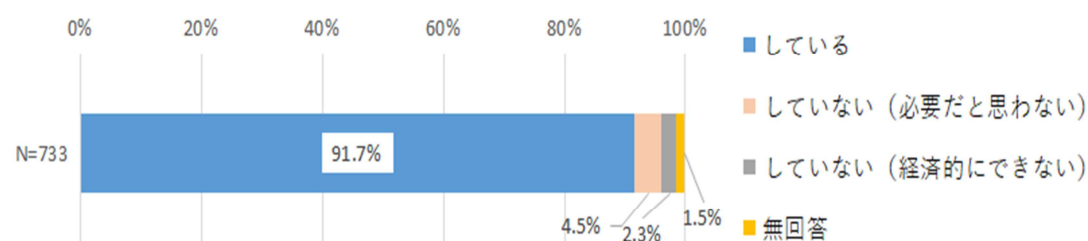
⑥クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる



⑦医療機関を受診する



⑧学校行事などへ親が参加する

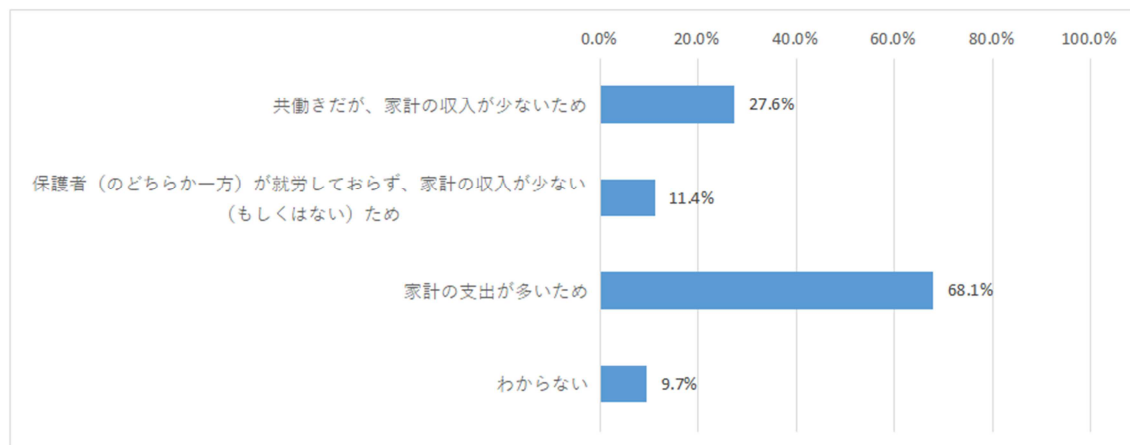


※問11で「経済的にできない」と回答した方に伺います。

「経済的にできない」理由はなんですか。(問11-1)

「経済的にできない」理由についてみると、「家計の支出が多いため」が68.1%と最も高く、次いで「共働きだが、家計の収入が少ないため」が27.6%、「保護者(のどちらか一方)が就労しておらず、家計の収入が少ない(もしくはない)ため」が11.4%となっています。

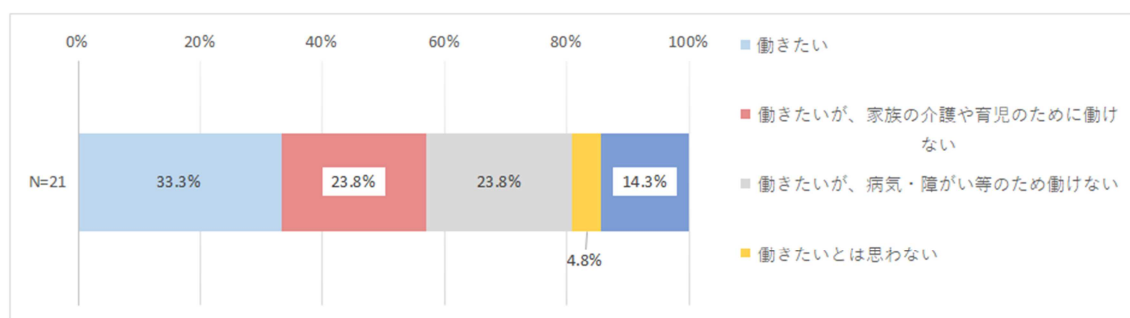
n=186



※問11-1で「保護者(のどちらか一方)が就労しておらず、家計の収入が少ない(もしくはない)ため」と回答した方に伺います。

現在働いていない方は、今後働きたいと思いますか。(問11-2)

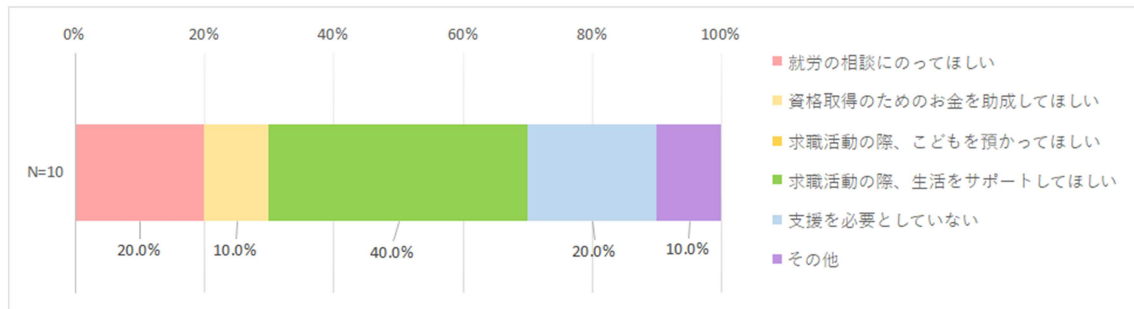
現在働いていない方の就労意向についてみると、「働きたい」が33.3%と最も高く、次いで「働きたいが、家族の介護や育児のために働けない」「働きたいが、病気・障がい等のため働けない」がともに23.8%となっています。



※問11－2で「働きたいが、家族の介護や育児のために働けない」「働きたいが、病気・障がい等のため働けない」と回答した方に伺います。

あなたは就労するにあたり、どのような支援を必要としていますか。(問11－3)

働きたいが働けない場合の支援希望についてみると、「求職活動の際、生活をサポートしてほしい」が40.0%と最も高く、次いで「支援を必要としていない」「就労の相談にのってほしい」がともに 20.0%となっています。

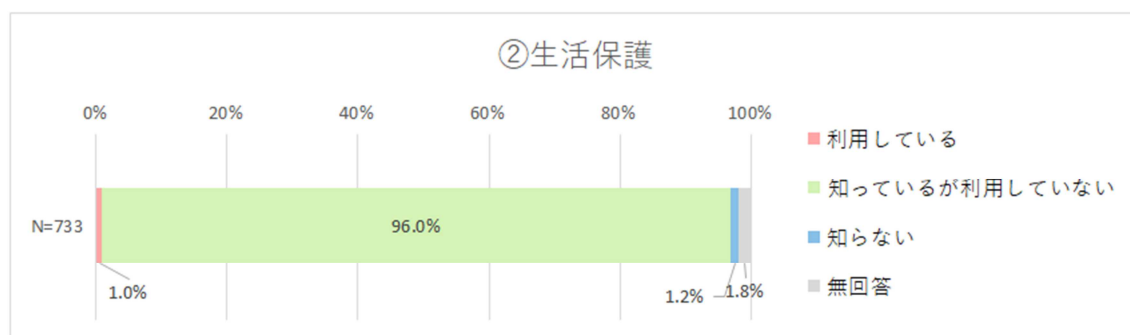
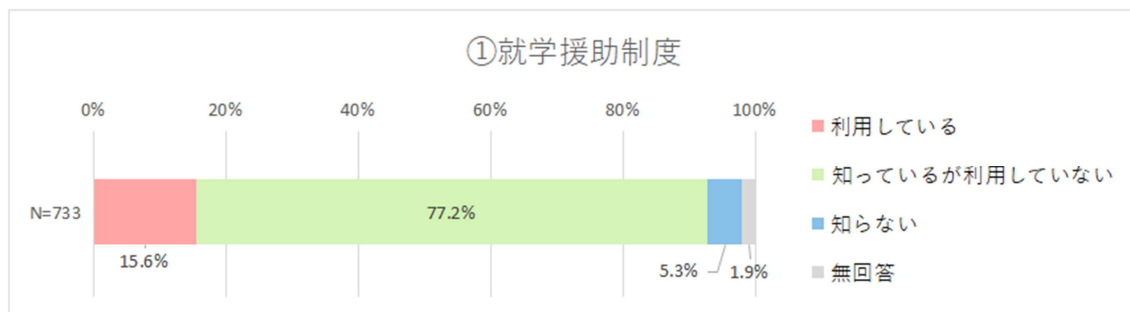


その他の回答(自由記述)

・病気や障がいで短時間や少ない日数しか働けないことや休まざるを得ない時があることに対する理解や協力を広めて偏見を少なくし、私のような者でも安心して働ける環境作りをお願いしたいです。

①～②の制度について利用したことがありますか。(問12)

制度の利用状況についてみると、どちらの制度も「知っているが利用していない」が7割台を越えている状況です。

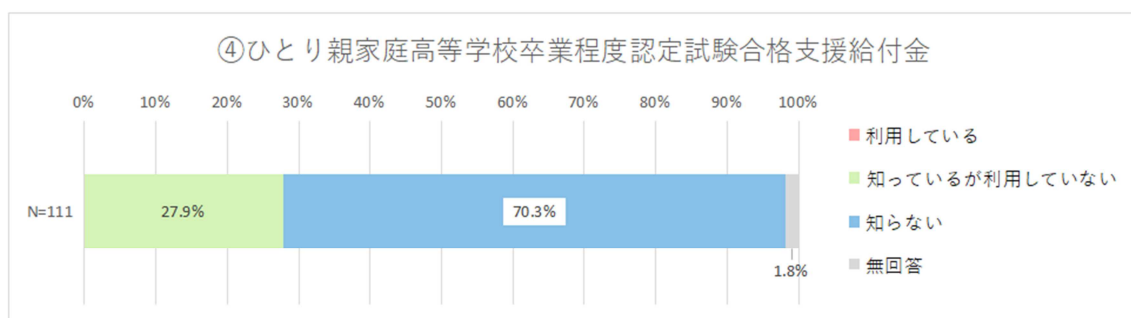
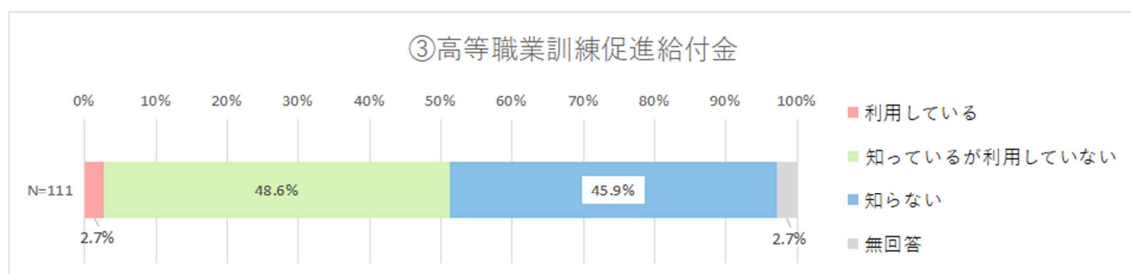
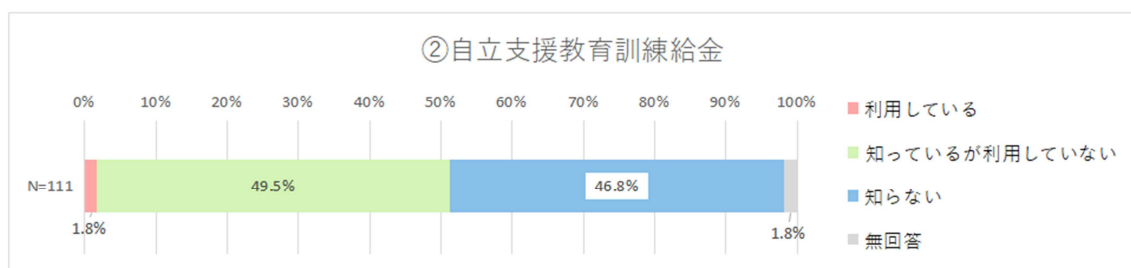
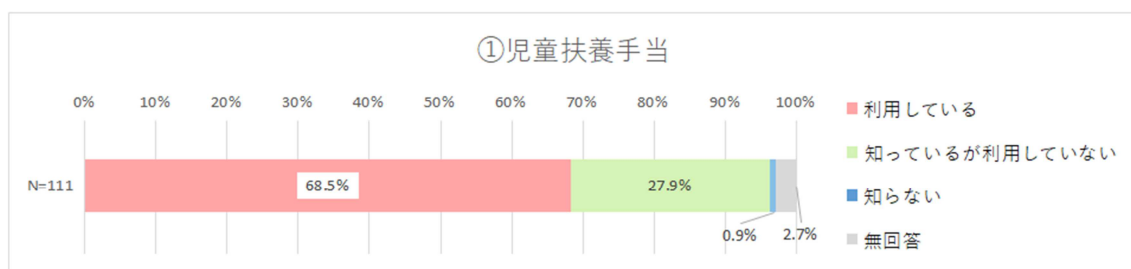


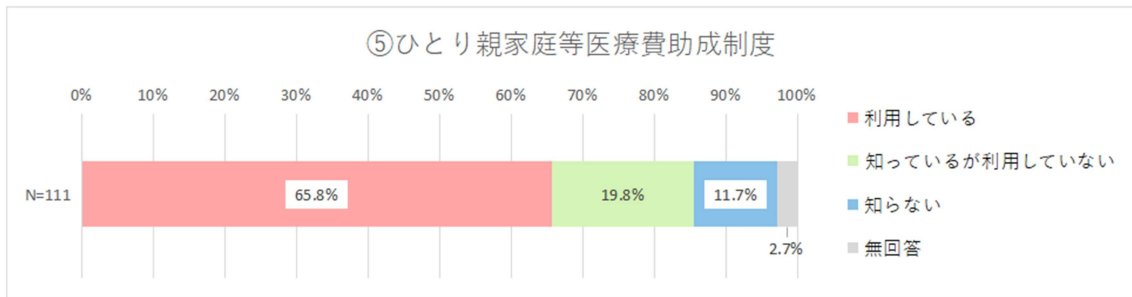
※問6で「配偶者はいない」と回答した方に伺います。

①～⑤の制度を知っていますか。また、利用したことがありますか。(問13)

事業の利用状況についてみると、「利用している」が「児童扶養手当」「ひとり親家庭等医療費助成制度」では6割を越えてるものの他の事業では1割を下回っています。

事業の認知度についてみると、「知らない」が「ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金」では7割台と最も高く、次いで「高等職業訓練促進給付金」「自立支援教育訓練給金」では4割台となっています。

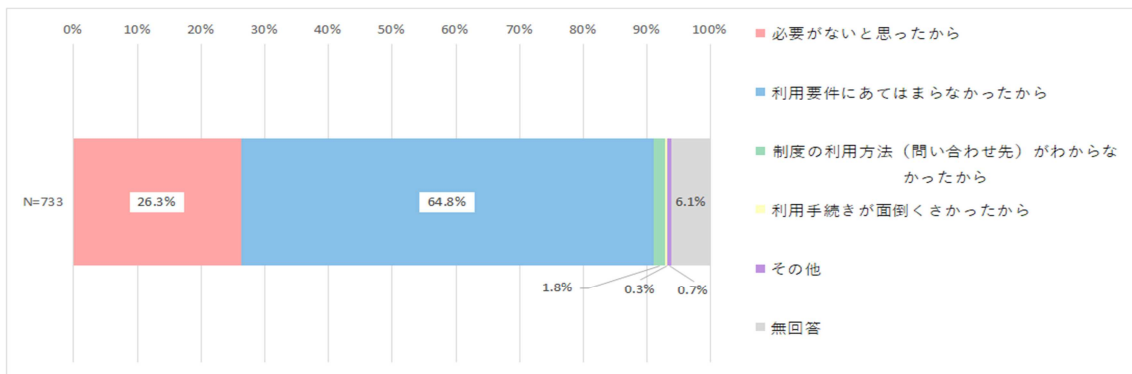




※問 12、問 13 で「知っているが利用していない」と回答した方にお伺いします。

「知っているが利用していない」と回答した理由は何ですか。(問14)

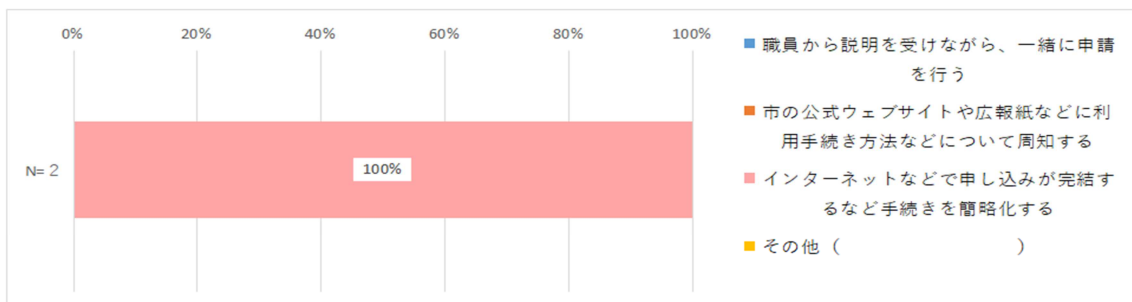
「知っているが利用していない」理由についてみると、「利用要件にあてはまらなかったから」が64.8%と最も高く、次いで「必要がないと思ったから」が26.3%、「制度の利用方法(問い合わせ先)がわからなかったから」が1.8%となっています。



※問 14 で「利用手続きが面倒くさかったから」と回答した方にお伺いします。

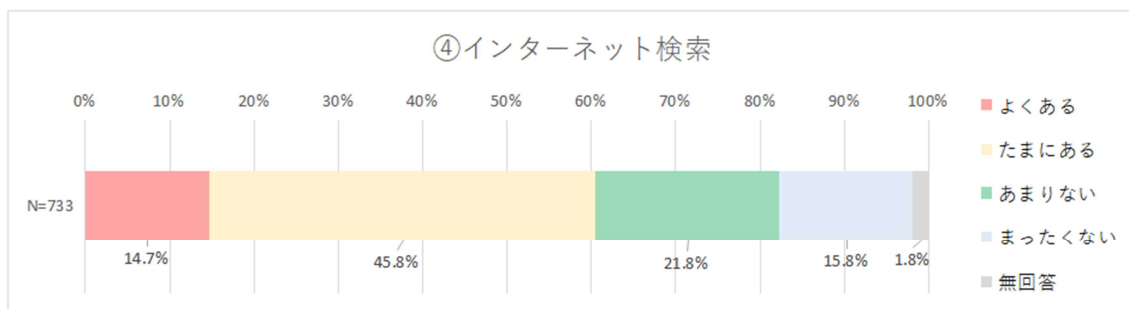
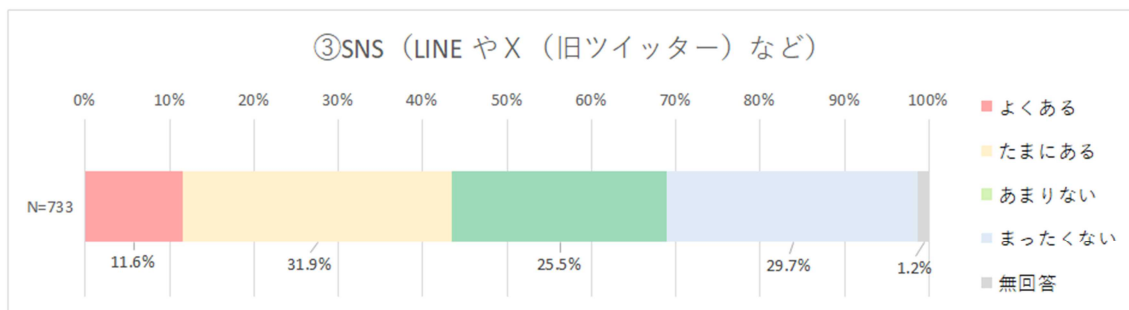
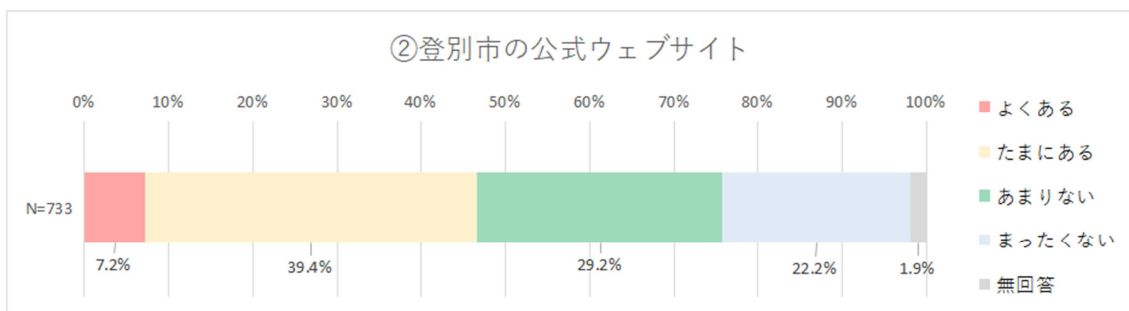
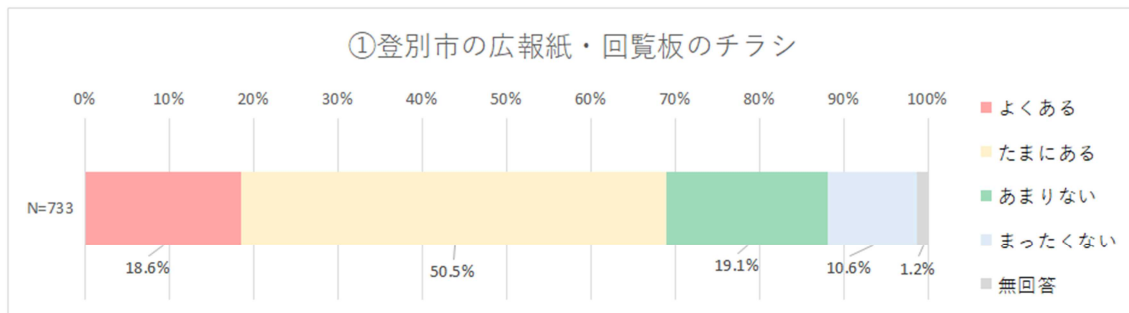
どのような支援があれば利用したいと思いますか。(問14-1)

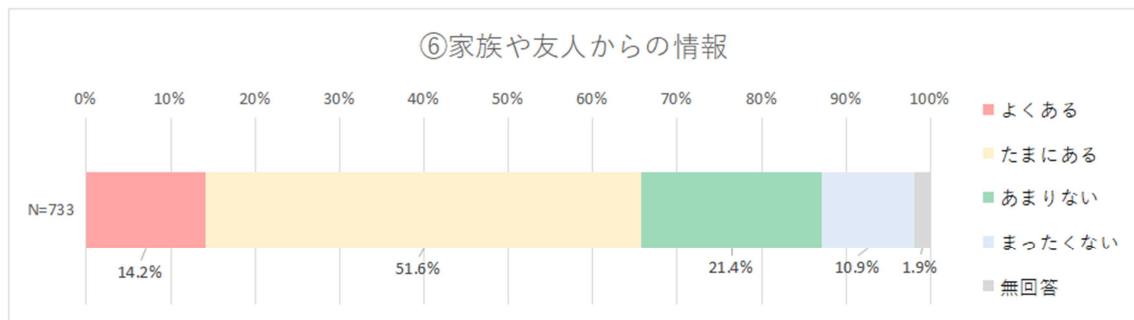
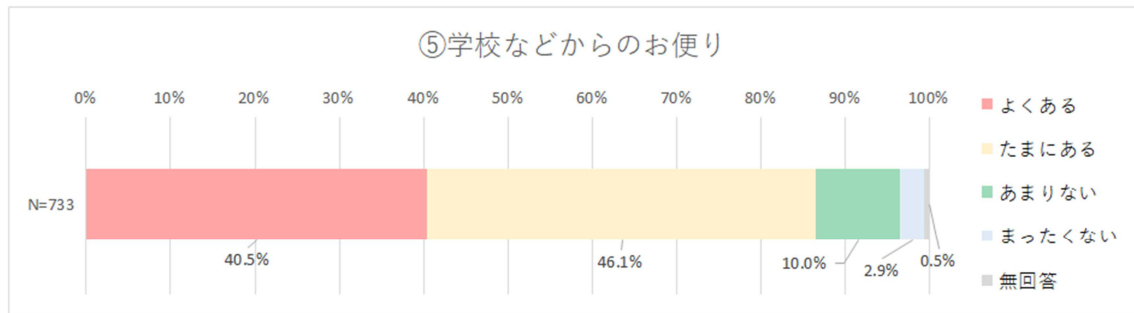
求めている支援についてみると、「インターネットなどで申し込みが完結するなど手続きを簡略化する」が100%となっています。



普段、こどもに関する制度について(内容や利用方法など)の情報を得るために、以下のようなものをどの程度参考にしていますか。(問15)

情報を得るための参考物についてみると、全ての選択肢において「たまにある」の割合が最も高くなっています。





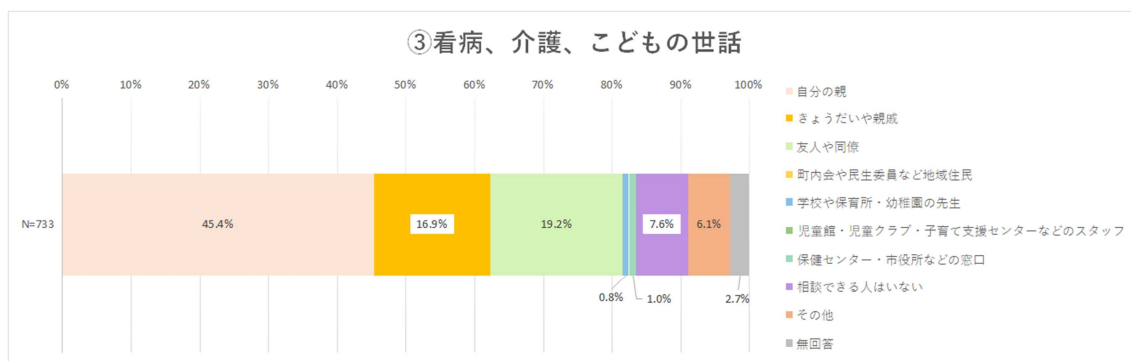
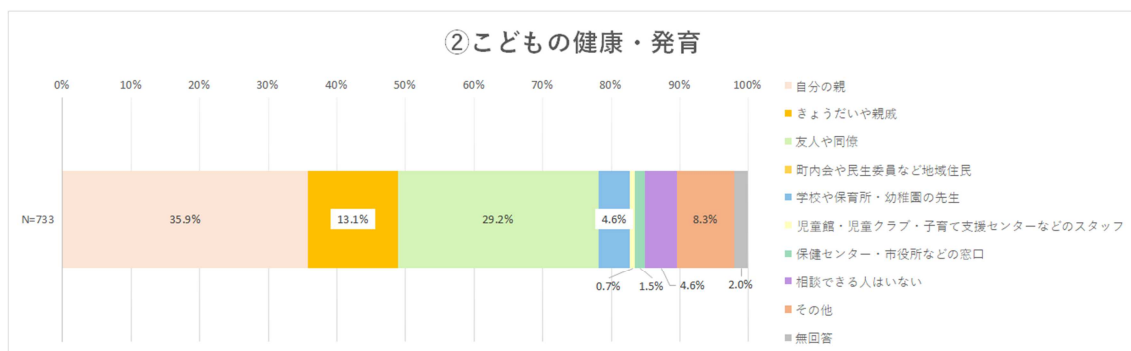
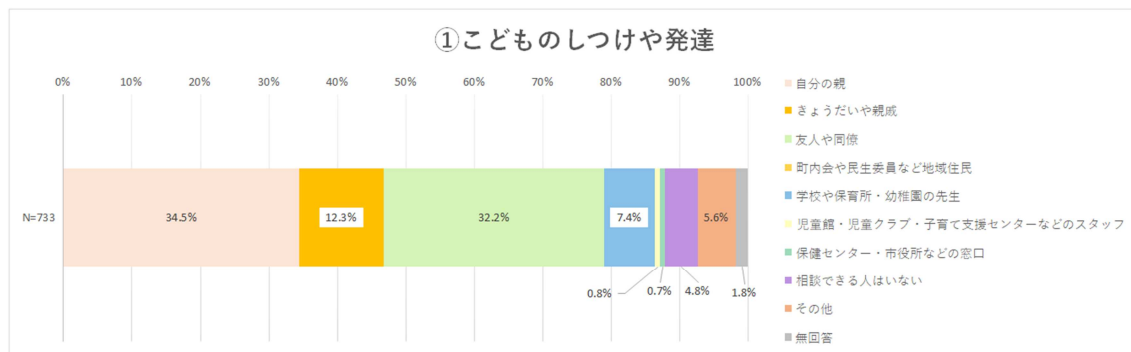
その他よく参考にしているもの(自由記述)

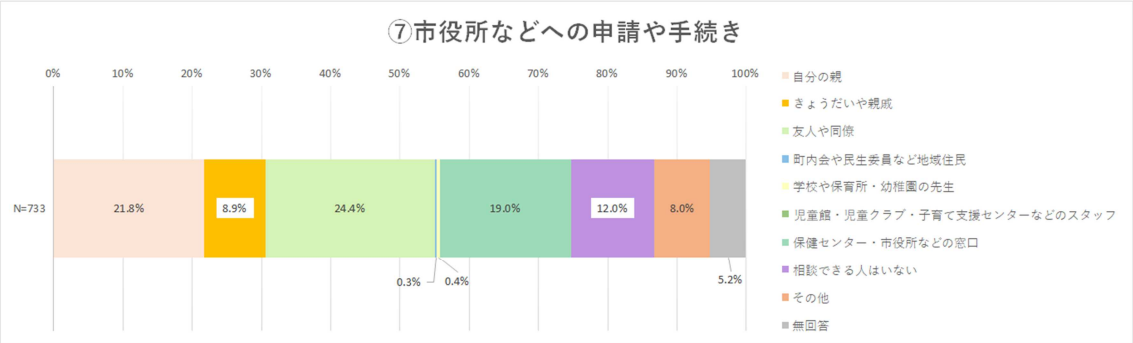
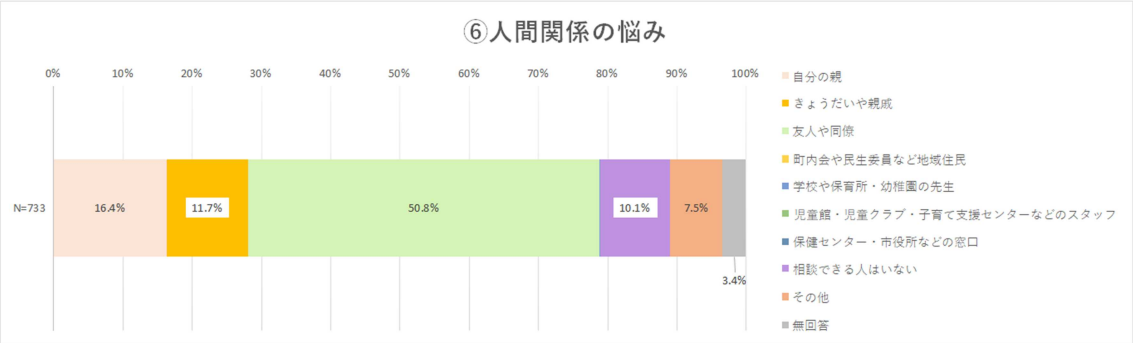
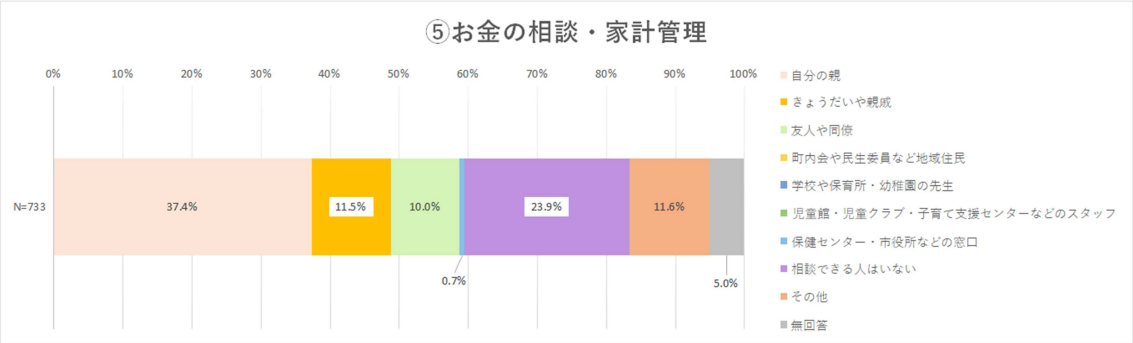
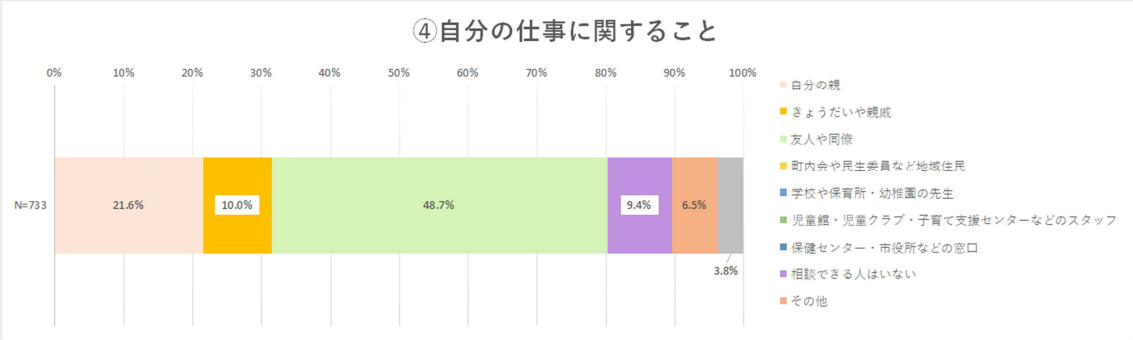
- ・お店や公共施設などのポスター
- ・お客様から教えてもらう
- ・新聞、TV ニュース
- ・YouTube
- ・ふおれすと鉱山や図書館の掲示板
- ・登別市の LINE

困りごとや悩みの相談について

あなたが次のことで相談できる人はだれですか。(問16)

子育てについて相談できる人についてみると、「①こどものしつけや発達」「②こどもの健康・発育」「③看病、介護、こどもの世話」「⑤お金の相談・家計管理」では「自分の親」の割合が最も高く、「④自分の仕事に関すること」「⑥人間関係の悩み」「⑦市役所などへの申請や手続き」では「友人や同僚」の割合が最も高くなっています。

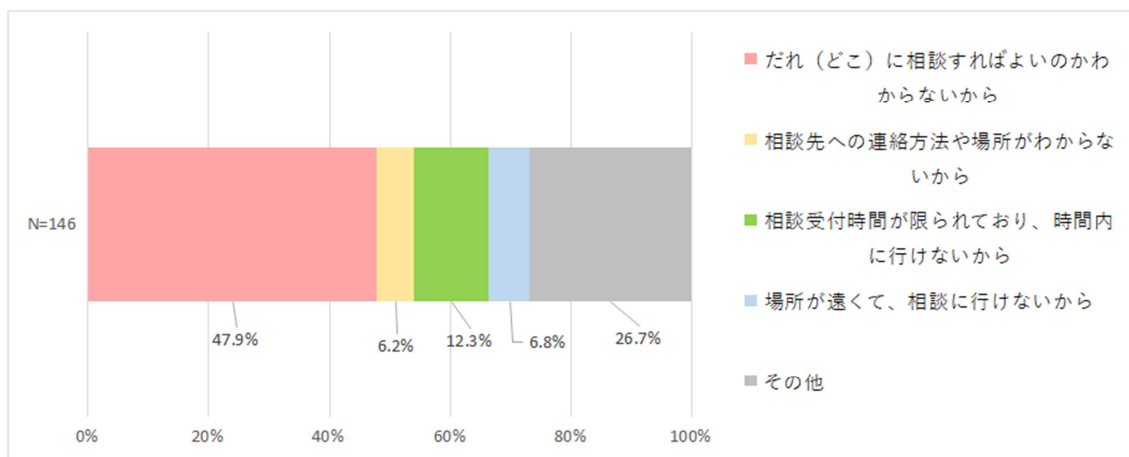




※問16で「相談できる人はいない」と回答した方にお伺いします。

「相談できる人はいない」と考える理由はなんですか。(問16-1)

「相談できる人はいない」理由についてみると、「だれ(どこ)に相談すればよいのかわからないから」が47.9%と最も高く、次いで「相談受付時間が限られており、時間内に行けないから」が12.3%、「場所が遠くて、相談に行けないから」が6.8%となっています。



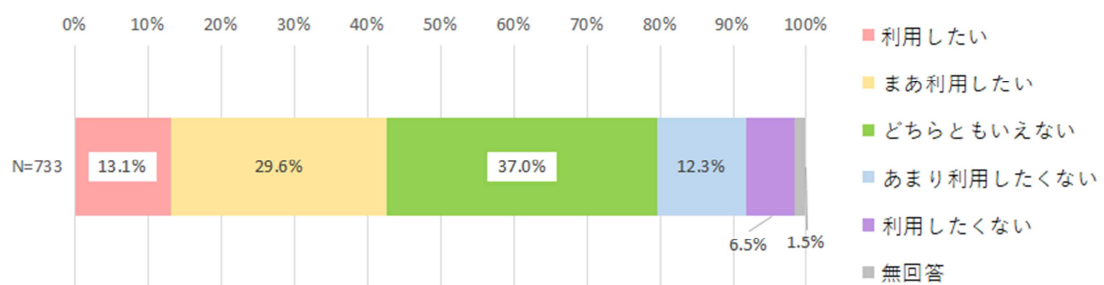
その他の回答(自由記述)

- ・解決策が見つからないと思う
- ・何度も訪問されたり根掘り葉掘り聞かれたりで精神的にまいってしまう
- ・話す相手がいないから
- ・金銭管理は家庭それぞれ、金銭感覚は人それぞれなので…相談しても正解はなくモヤモヤするのではと思ひまして
- ・夫婦で話し合っているので外に相談したことは無い
- ・特に必要がない
- ・言いたくない
- ・お金や仕事などは、打ち明けづらい
- ・申請や手続きそのものを知らない

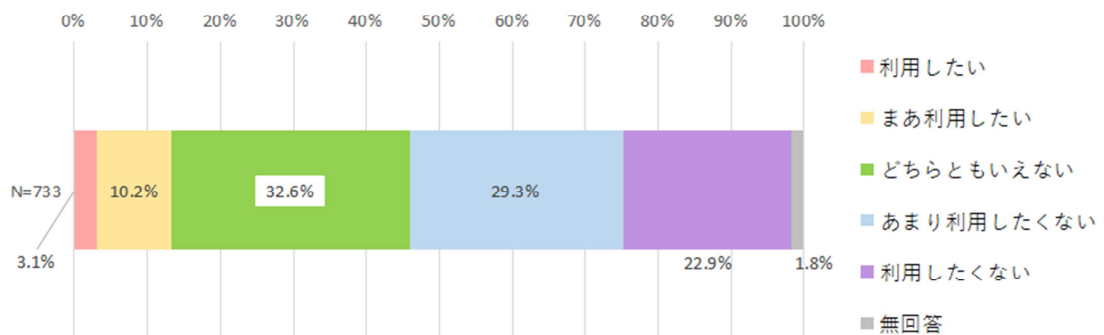
あなたが相談しやすいと思う「相談窓口の形」は、どのようなものですか。(問 17)

相談しやすい窓口の形についてみると、「①相談窓口にあなたが出かけて行く、対面での相談」「②相談窓口の担当者があなたのもとを訪問しておこなう、対面での相談」「③相談窓口の担当者との、電話での相談」「④相談窓口で開設している、インターネットの相談サイトでのメールによる相談」では「どちらともいえない」が3割台以上と最も高く、「⑤相談窓口で開設している、LINE やメッセージなどの SNS を使用した相談」では「まあ利用したい」が3割台と最も高くなっています。

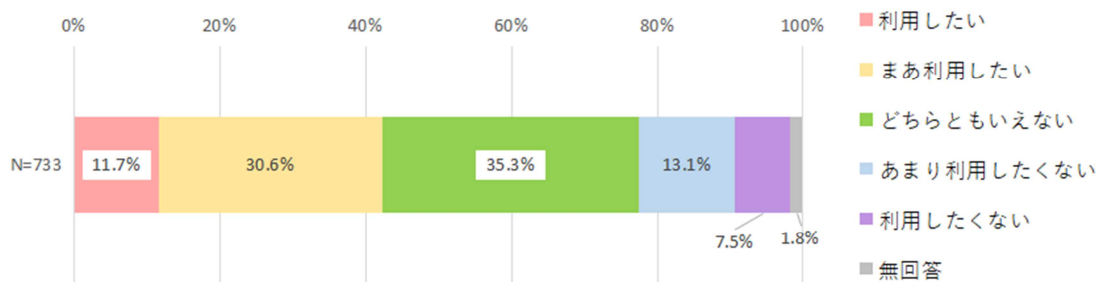
①相談窓口にあなたが出かけて行く、対面での相談



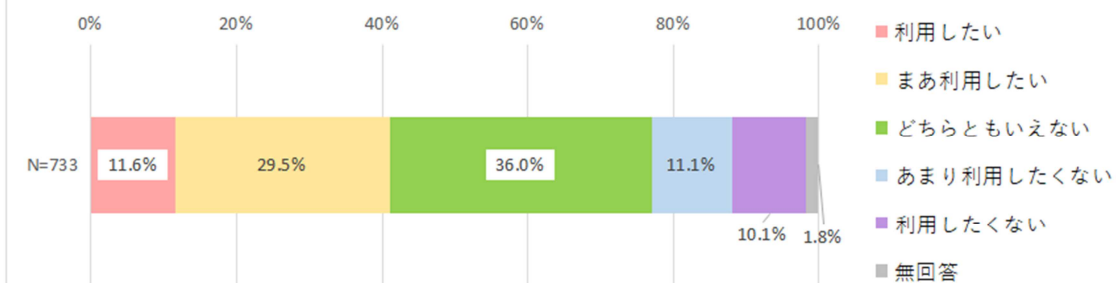
②相談窓口の担当者があなたのもとを訪問しておこなう、対面での相談



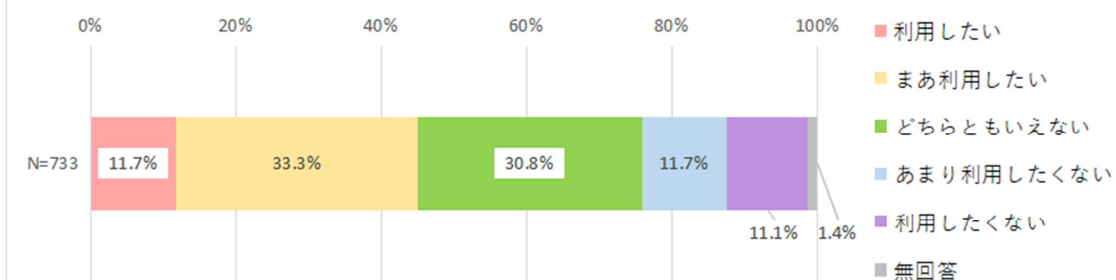
③相談窓口の担当者との、電話での相談



④相談窓口で開設している、インターネットの相談サイトでの
メールによる相談



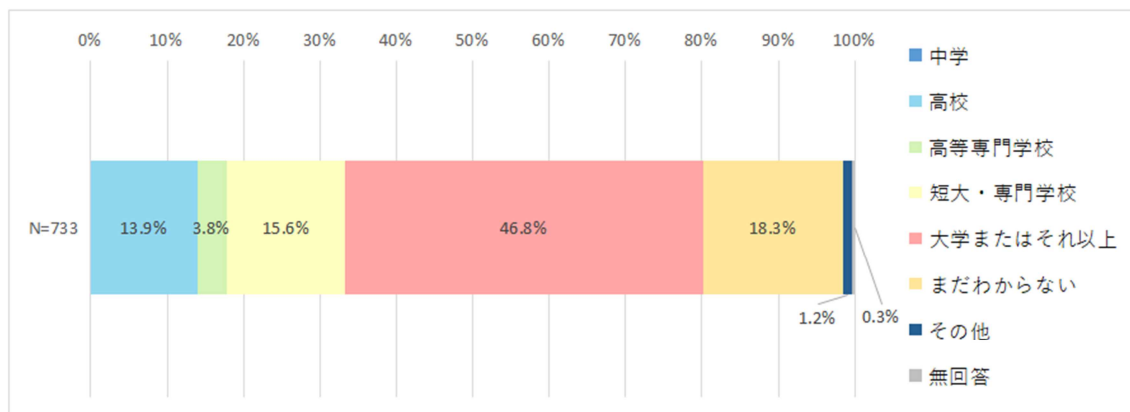
⑤相談窓口で開設している、LINEやメッセージなどのSNSを
使用した相談



お子さんの教育に関することについて

お子さんにどの段階まで教育を受けさせたいですか。(問18)

どの段階まで教育を受けさせたいかについてみると、「大学またはそれ以上」が46.8%と最も高く、次いで「まだわからない」が18.3%、「短大・専門学校」が15.6%となっています。



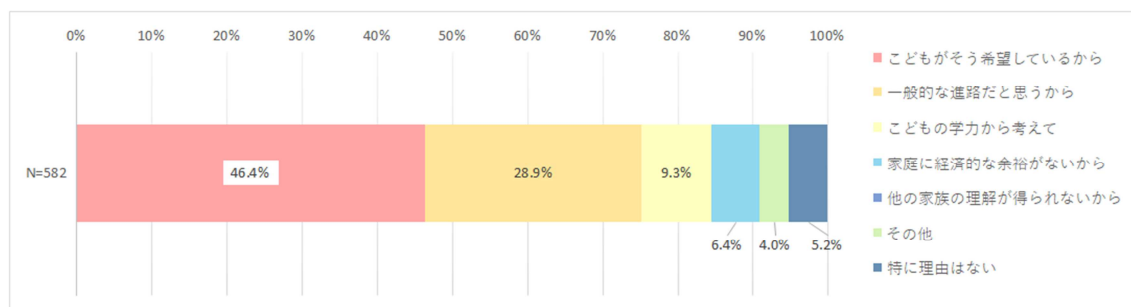
その他の回答(自由記述)

- ・本人の意思に任せる
- ・高等支援学校

※問18で「その他」以外と回答した方に伺います。

あなたが上記のようにお考えになる理由はなんですか。(問18-1)

前問の理由についてみると、「こどもがそう希望しているから」が46.4%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」が28.9%、「こどもの学力から考えて」が9.3%となっています。



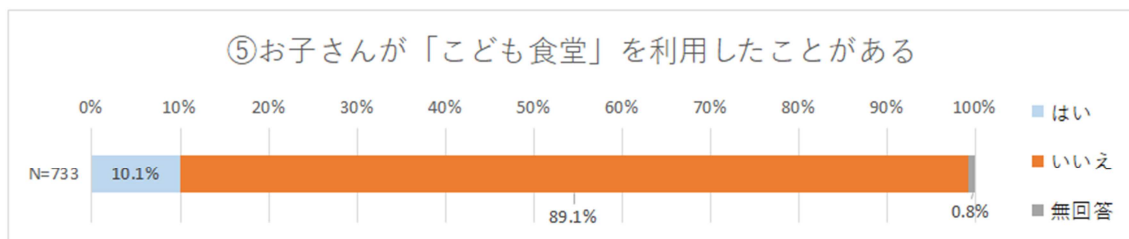
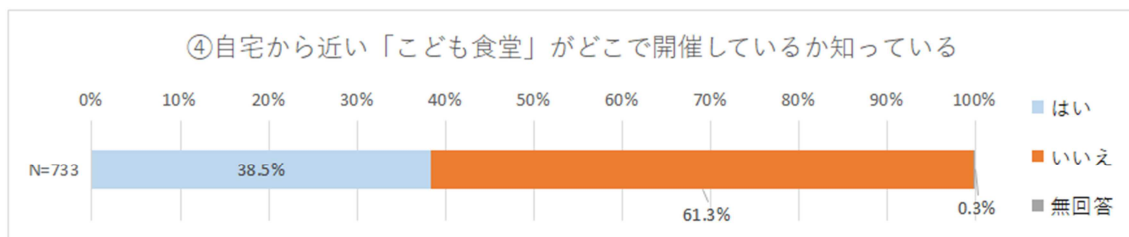
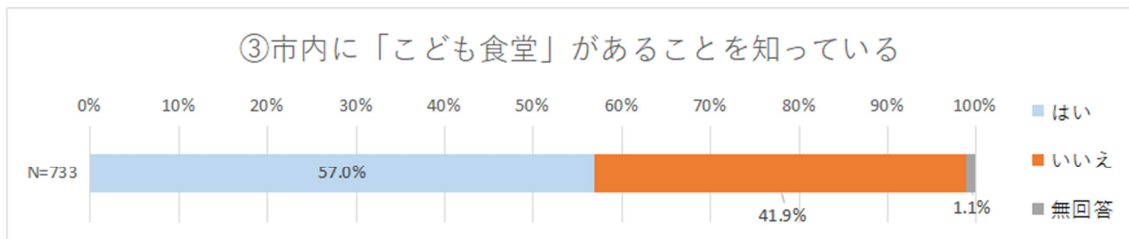
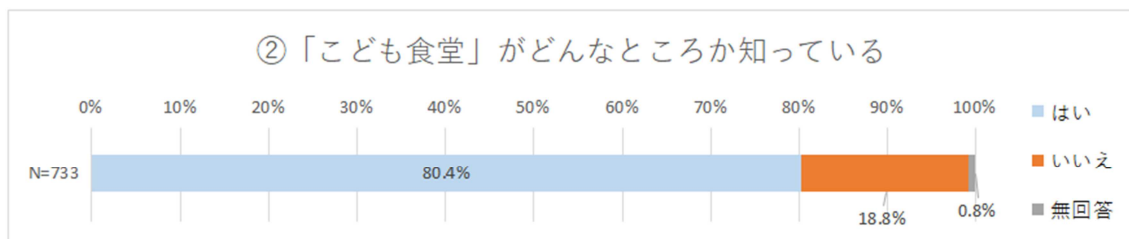
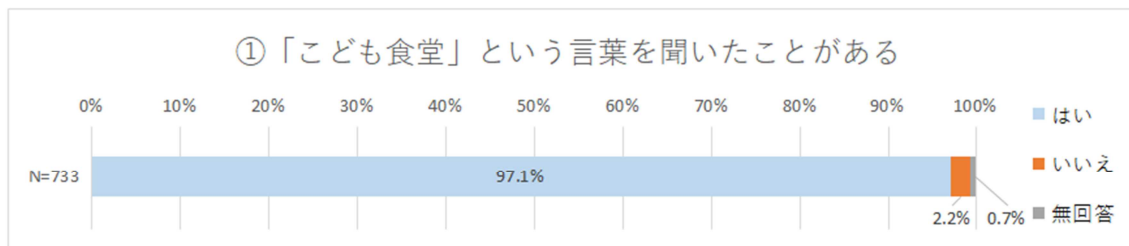
その他の回答（自由記述）

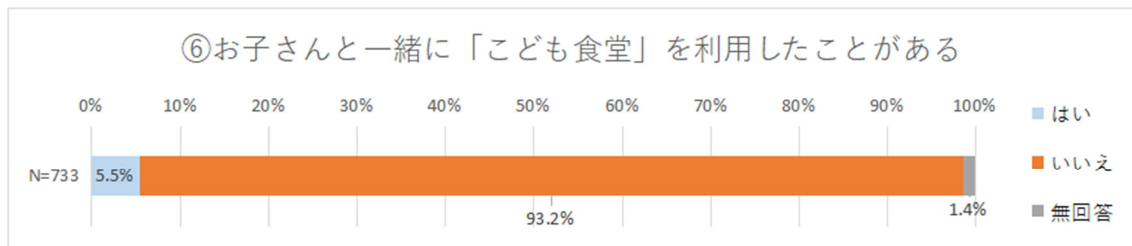
- ・これから社会で生きていくために、学びを深め、選択の幅を広げたいため
- ・その時期にしか得られないものがあると思うから。ただし本人が希望する場合にのみ、大学や専門学校への進学を考えている
- ・現在の社会的に大卒が求められているから
- ・本人次第だが、大学でやりたい事を見つけてほしい
- ・将来のため
- ・子どもの将来的な選択肢を増やしてあげたいから
- ・子どもが希望すれば、学びたいことを学ぶ機会を保障したい
- ・就職に最低限の学力、知識があった方がよいから。それ以降は本人が希望すれば資金はななくとも何とか応援してあげたいし、視野を広げるためのアドバイスはしてあげたい。やることないのに大学までとりあえずでいさせる金銭的余裕はない
- ・最低でも高校まではと思っています。後は経済的に余裕がなくても短大、専門学校、大学のどれかを本人が希望するのであれば通わせたいと思っています
- ・しっかりとした所に就職する為には大学卒業が望ましいと考える為
- ・社会に出た時に役に立つと考えて
- ・資格を取って欲しいから
- ・本人に任せるが、最低限高校は卒業して欲しいから
- ・子供がやりたいことがあって進学を希望したら行かせてあげたい
- ・子供が望めばどこでも
- ・自分が進学しなくて後悔したから

こどもの居場所について

こども食堂に関することについて(問 19)

こども食堂に関することについてみると、「はい」が「①「こども食堂」という言葉を聞いたことがある。」「②「こども食堂」がどんなところか知っている。」「③市内に「こども食堂」があることを知っている。」では5割を越えてるものの、他の選択肢では「いいえ」が6割を越えています。

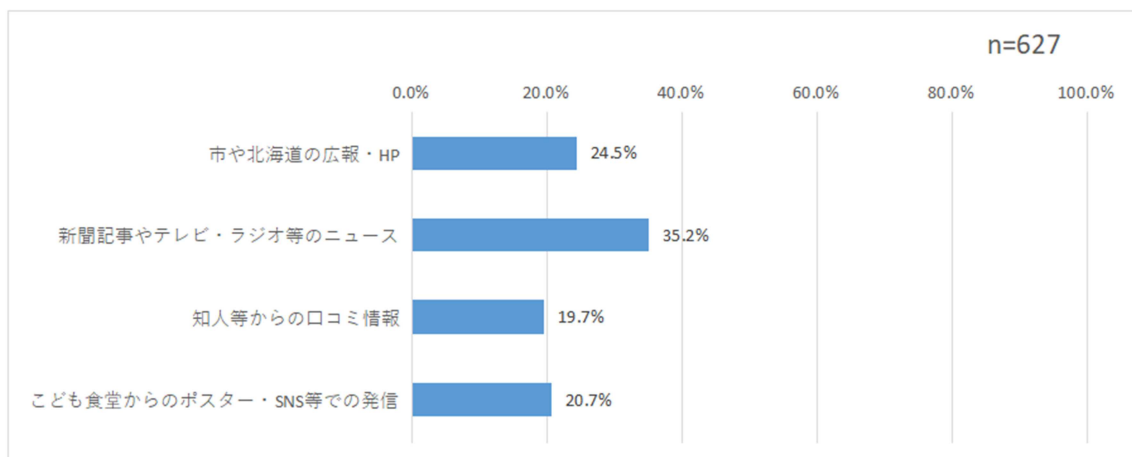




※問19でどれか一つでも「はい」と回答した方にお伺いします。

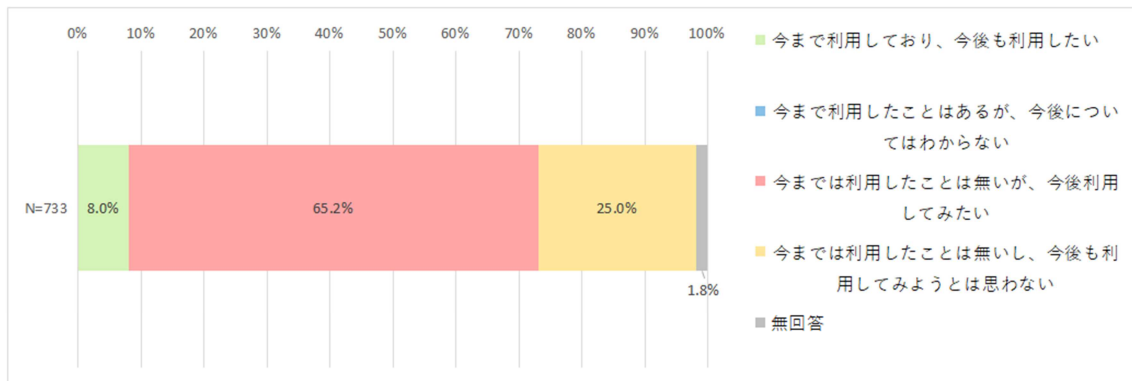
「こども食堂」の情報を、どのような手段で知ることができましたか。(問19-1)

「こども食堂」を知る手段についてみると、「新聞記事やテレビ・ラジオ等のニュース」が35.2%と最も高く、次いで「市や北海道の広報・HP」が24.5%、「こども食堂からのポスター・SNS等での発信」が20.7%となっています。



今後、自宅近く等の利用しやすい場所で「こども食堂」ができた場合、利用したいと思いますか。(問20)

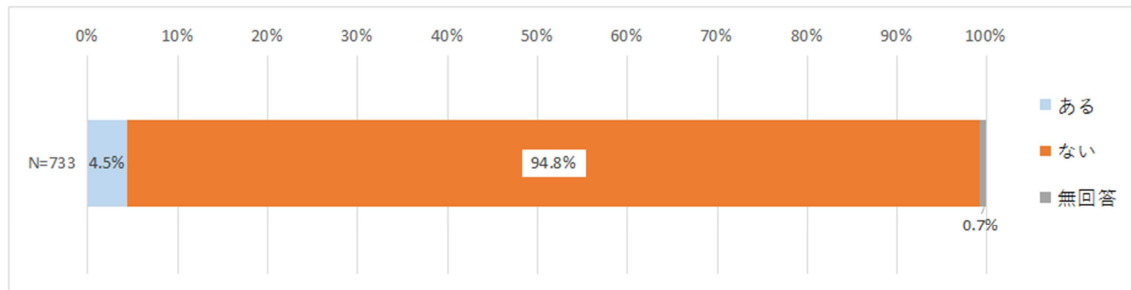
「こども食堂」ができた場合の利用希望についてみると、「今までは利用したことは無いが、今後利用してみたい」が65.2%と最も高く、次いで「今までは利用したことは無いし、今後も利用してみようとは思わない」が25.0%、「今まで利用しており、今後も利用したい」が8.0%となっています。



家族のお世話について

家族の中にいる高齢や病気、身体が不自由、幼い等支援が必要な方に対し、お子さんだけでお世話をすることはありますか。(問21)

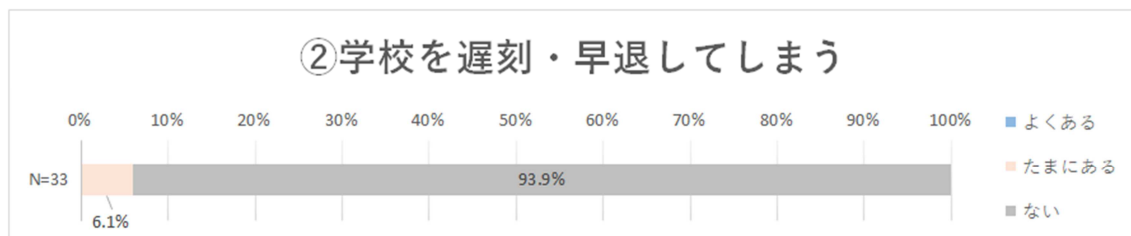
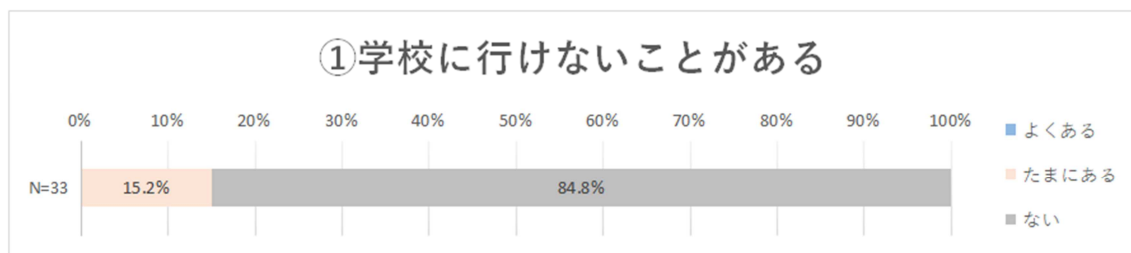
支援が必要な方に対し、お子さんだけでお世話をするものの有無についてみると、「ない」が94.8%、「ある」が4.5%となっています。



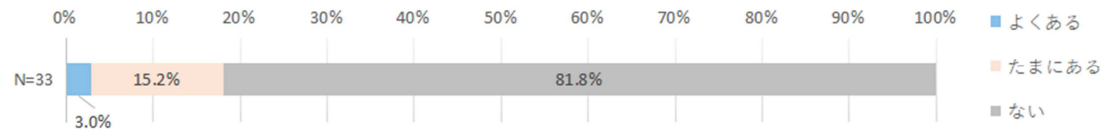
※問21で「ある」と回答した方にお伺いします。

お子さんだけでお世話をすることでお子さん自身の生活に何か問題が生じていますか。(問21-1)

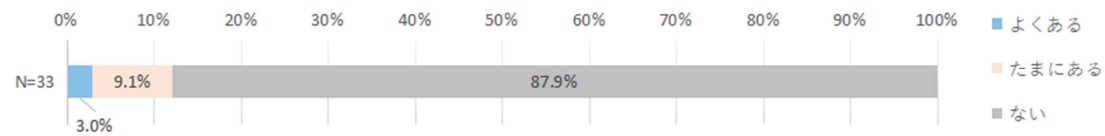
お子さんだけでお世話をすることでお子さん自身の生活に何か問題が生じているかについてみると、全ての選択肢において「ない」が7割台を越えて最も高くなっています。その他は「たまにある」は2割台以下、「よくある」は1割台以下となっています。



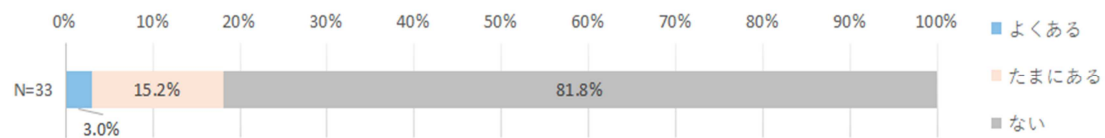
③勉強する時間が取れない



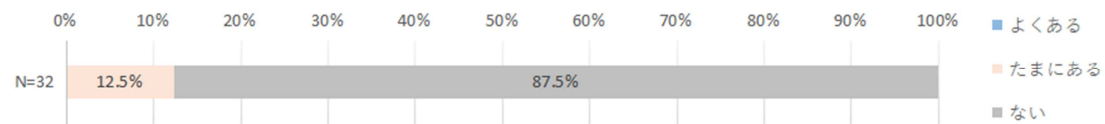
④睡眠が十分に取れない



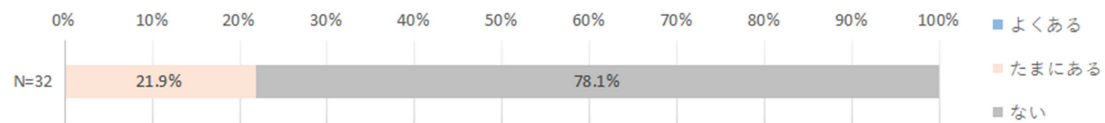
⑤友人と遊べないことがある



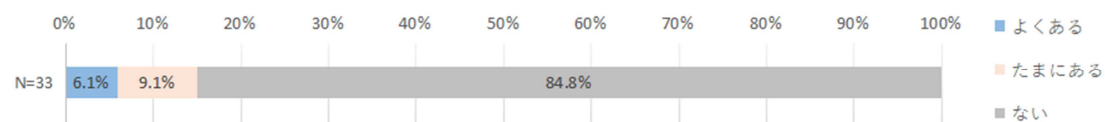
⑥部活や習い事が思うようにできない



⑦お子さんの自由になる時間が取れない



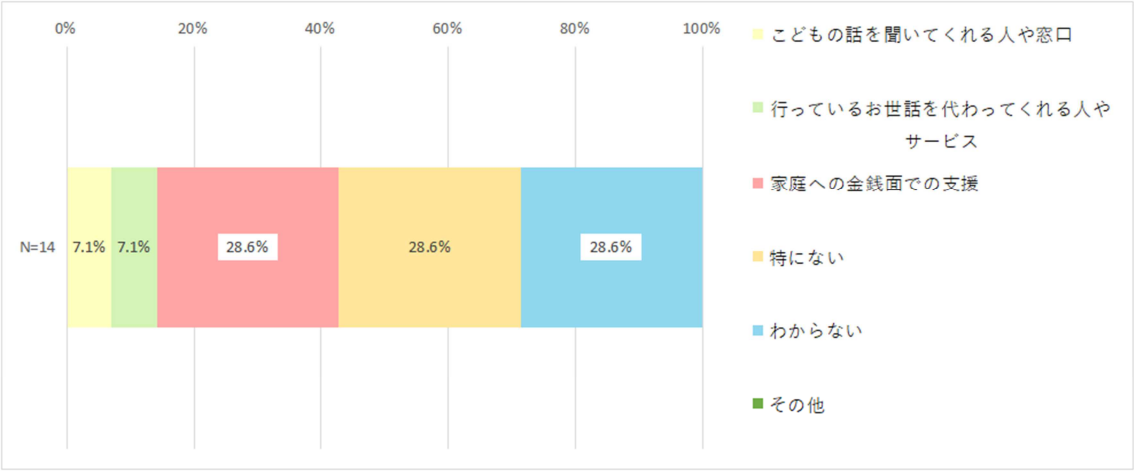
⑧お子さんが自由に過ごせる場所がない



※問 2 1－1 で「問題が生じている」と回答した方にお伺いします。

生じている問題についてどのような支援があれば解決すると思いますか。(問21－2)

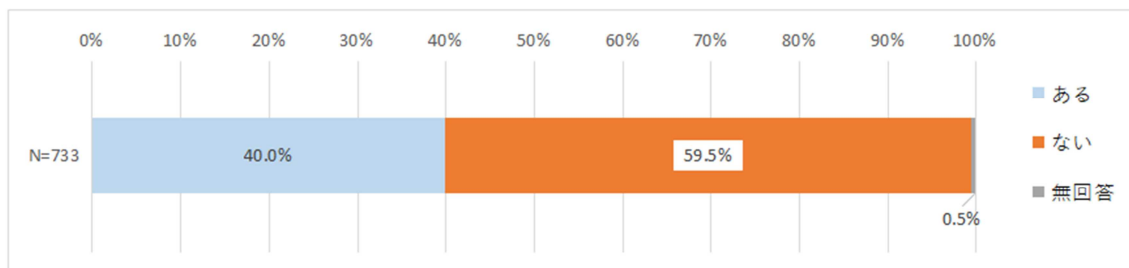
前問で問題が生じている場合の支援希望についてみると、「家庭への金銭面での支援」「特
にない」がともに 28.6%と最も高く、次いで「こどもの話を聞いてくれる人や窓口」「行っている
お世話を代わってくれる人やサービス」がともに 7.1%となっています。



ご家庭での生活に関することについて

家事・子育て等に対して不安や負担に思うことはありますか。(問22)

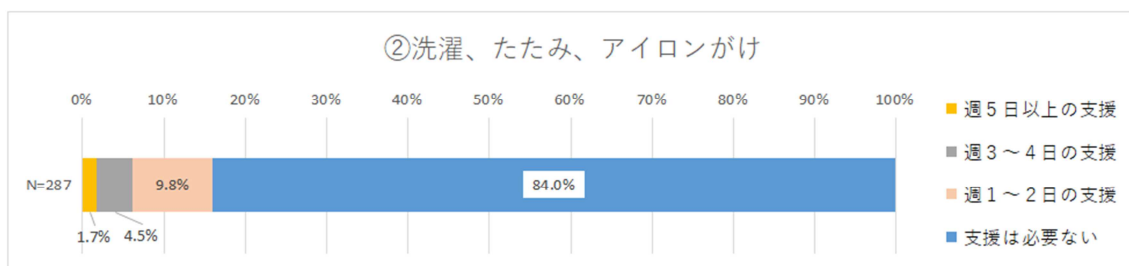
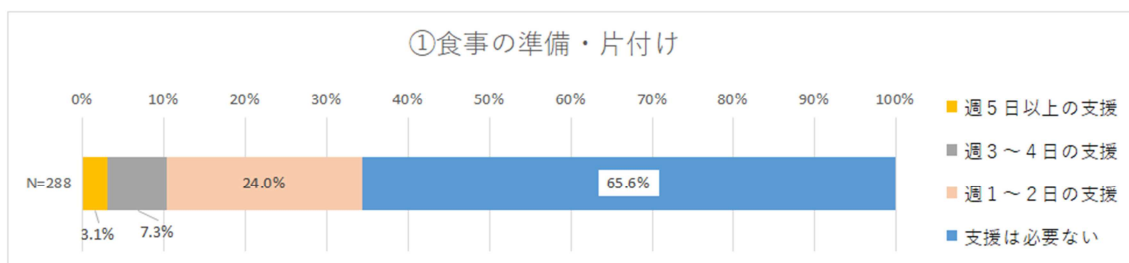
家事・子育て等にかかる不安や負担の有無についてみると、「ない」が59.5%、「ある」が40.0%となっています。



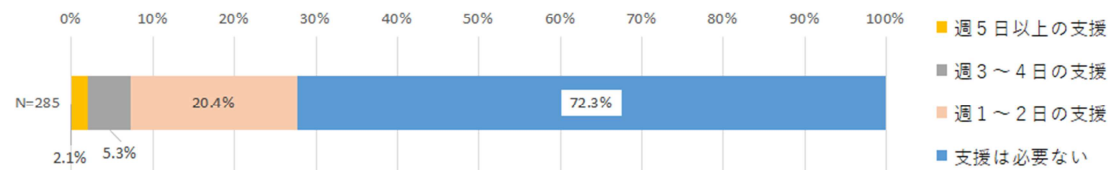
※問22で「ある」と回答した方にお伺いします。

あなたは家事・子育て等の支援があったとしたらどのくらい利用したいと思いますか。(問22-1)

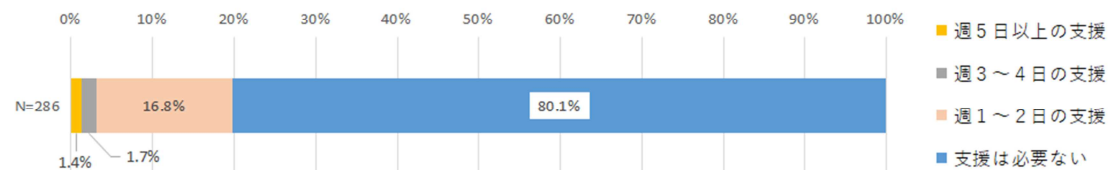
家事・子育て等の支援の利用希望についてみると、全ての選択肢において「支援は必要ない」が5割台を越えて最も高くなっており、その他の選択肢については「週1～2日の支援」は3割台以下、「週3～4日の支援」「週5日以上支援」はともに1割台以下となっています。



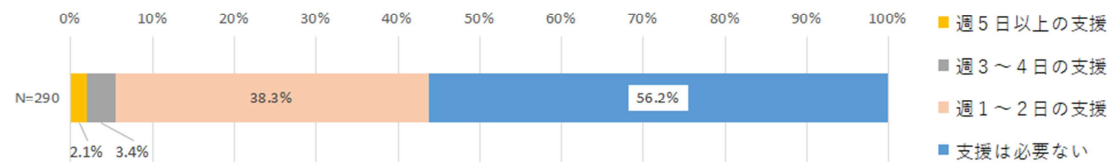
③掃除



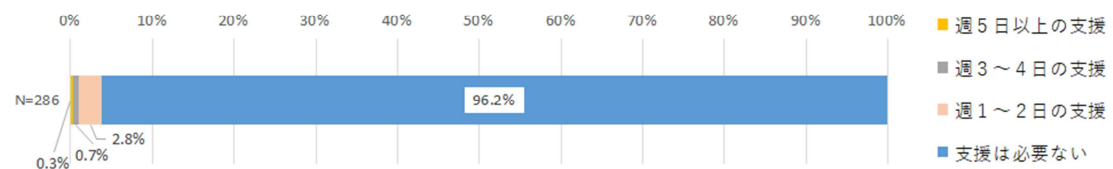
④買い物の代行やサポート



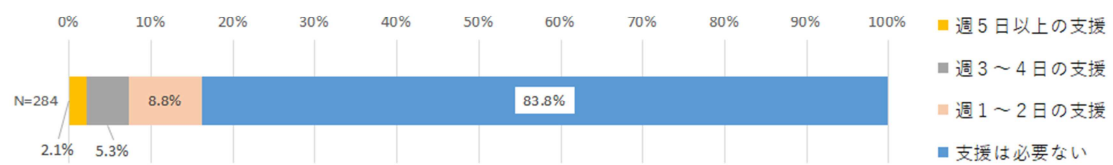
⑤大掃除、網戸、エアコン、照明器具等の掃除、草むしり



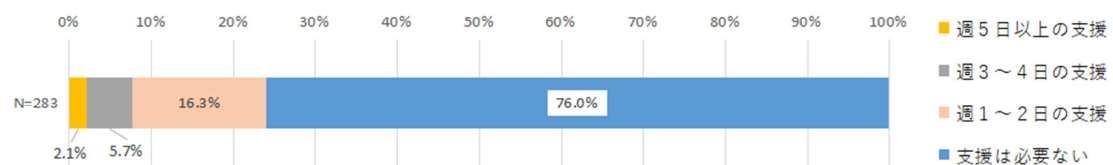
⑥育児のサポート（授乳や食事、おむつ交換等）

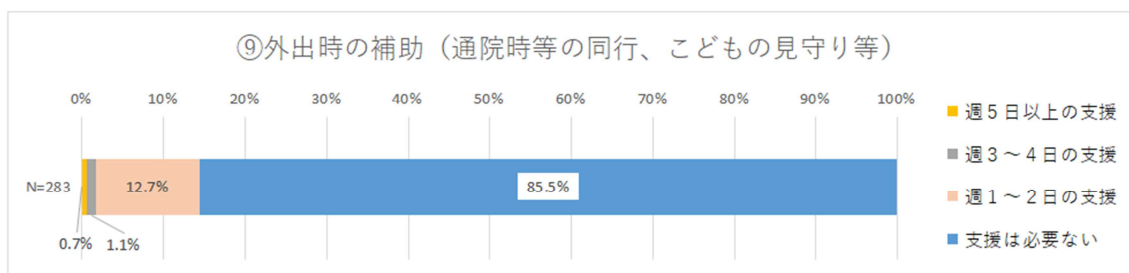


⑦保育所・幼稚園・放課後児童クラブ等の送迎



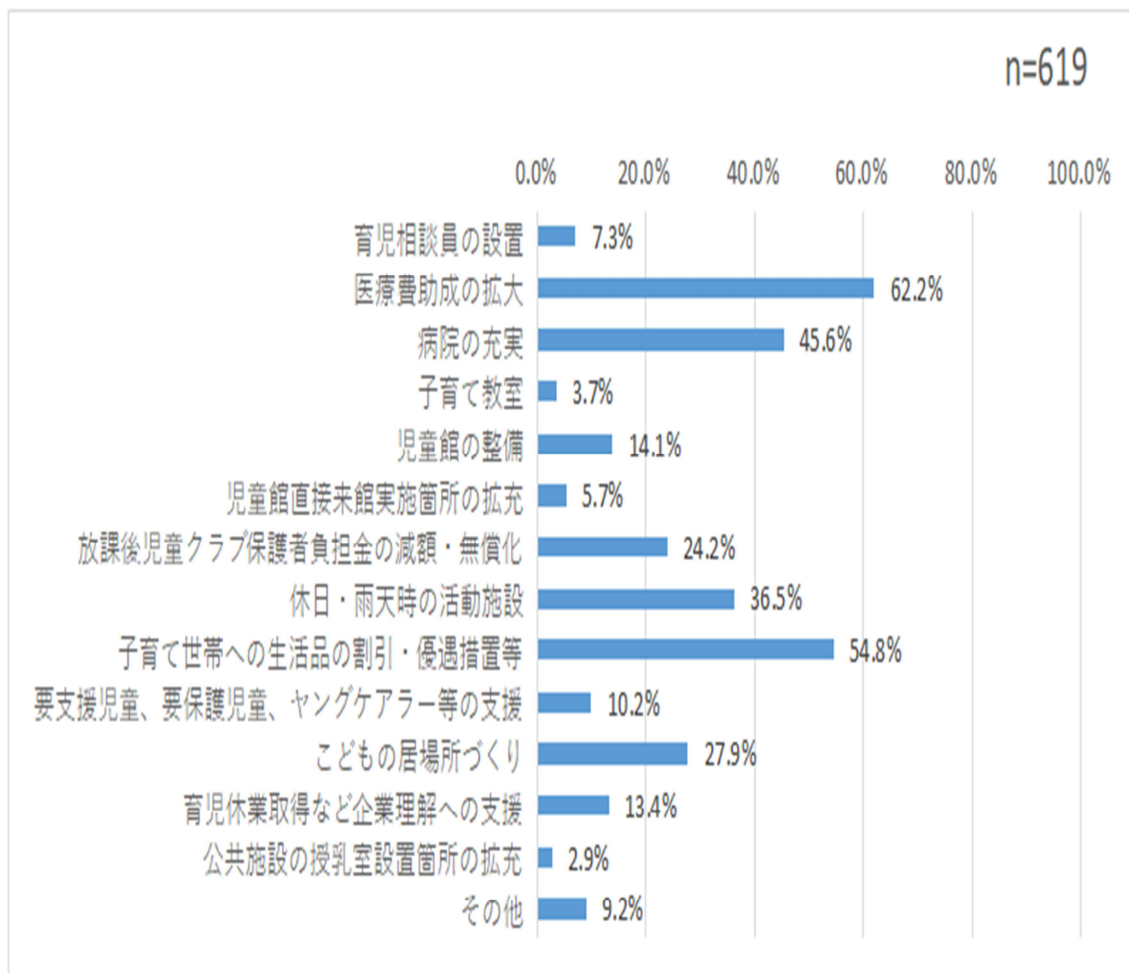
⑧こどもの見守り（宿題の見守り、遊び相手等）





あなたが登別市に望む子育て支援策はありますか。（問23）

登別市に望む子育て支援策についてみると、「医療費助成の拡大」が62.2%と最も高く、次いで「子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等」が54.8%、「病院の充実」が45.6%となっています。



あなたが子育てするにあたり、市に求めることや期待することはありますか。また、どのような支援があればよいと思いますか。(問24)

子育ての環境や支援に関してのご意見として、254人から回答が寄せられました。

【行政に求めること】

- ・相談窓口を土日や夜の時間にしてほしい。仕事をしていると相談したくてもできません。自分で抱え込んで仕事も切羽詰まり家事もできず子育てする余裕もなく鬱になりそうです。昼休みに電話する時間ありません。
- ・温泉をはじめとする観光に重点をおいて、子育てや未来ある子どもたちのための援助や補助、公共施設の整備が非常に遅れていると感じます。家庭環境によって、日々の生活に困難を抱えている子どもたちの支援、病気や発達障害によって、学びが困難な子どもたちの支援、室蘭のきらんのように、充実した図書館をはじめ、子どもだけでも学んだり、リフレッシュできる多目的な憩いの場となる施設を作っていただきたいと思います。
- ・学校の老朽化がひどいので、室蘭市のように統廃合でどんどん新設して欲しい。(津波等の災害を考えると、国道側には絶対に学校建ててもらいたくない。)
- ・公園が少ない。しかも制限も多い。若草テニスコートも老朽化もひどくきれいに子どもたちが使えるようにしてもらいたい。
- ・学校にちゃんとしたエアコンをつけてほしい。給食が貧相なのでもう一品ふやしてほしい。
- ・発達障がい児を育てている親に対し、心身のリフレッシュを図れるような支援があると良いと思います。また、どんなことでも子どもに関する悩みを気軽に相談できる場所やシステムがあると良いと思います。
- ・スクールカウンセラーの充実。相談したい時に対応してもらえるようにして欲しい。
- ・日曜や祝日が仕事の場合に児童クラブなど預け先があると安心します。
また市役所で何か手続きが必要な場合は、平日だけな上に窓口が閉まるのが早いため(一般的な就業時間と同じ)仕事を終えてから市役所に行くのは不可能です。月に一度だけでも20時くらいまで対応してくれる日が欲しいです

【経済的支援について】

- ・経済的に額面では余裕があるように見えても、経済的支援を受けられにくい世帯年収で、生活に余裕があるわけではありません。引かれるものが多く、もらえるものは少ない、半端な年収なので、実は苦しいです。国や市から受けられる助成が増えるとありがたいです。
- ・児童手当は、小刻みではなく、1年分などまとめて支給したほうが良い。いつもは出来ない旅行や外出など、特別な事ができるようになると思う。ちょっとずつ支給しても、結局何に使って消えたのかもわからない。
- ・低所得者のみならず、中間層の所得ギリギリの立場の場合、医療や学費、生活などが追いつい

ていけない何かもっと援助や給付といった形を早くとってほしい

- ・小児科や、発達の相談をする機関が少ないように思います。医療費も中学生くらいまではもっと負担を減らせたらと思います。
- ・児童手当の子供の数のカウントで第3子はずっと第3子で数えてほしいです。
- ・高校無償化など、家計の負担が軽減される支援を望みます。一般企業に勤めてますが企業もなかなか大変で給料アップもなかなか見込めず困ってます。
- ・小中高入学祝い金等あればとても助かります。
- ・就学や医療費全額免除。PTA 会費の減額。
- ・登別以外でも学んだ知識を地域に還元してもらえるような奨学金制度
- ・ゴミ袋が値上げされる中、学校や保育所に通っている子供がいる家庭はゴミの量が多いと思うのでプリントや作成物など、ゴミ袋を安くできるチケットや制度などがあると助かる。
- ・食べ盛りの為、物価高の今、食費にすごくお金がかかる。その援助をしてもらいたい。

【子育て・教育支援について】

- ・児童生徒が気軽に快適に使える学習室がない。図書館は建て直し予定らしいが、えみらんやきらんのような施設が欲しい。
- ・不登校支援を行っているひまわりの家も登校扱いにしてほしいです。現在は健千窯しか登校扱いにならず、1箇所だけでは足りないと思います。健千窯は近隣の子供以外は親の送迎が必要なのでなかなか通えない子も多いと思います。ひまわりの家は送迎有り、勉強も教えてくれますが、なぜか教育委員会の許可がおりず登校扱いになりません。
- ・不登校の子供達的环境も考え、登別市からも教育委員会にお願いして頂きたいです。
- ・下校後のアフタースクールがあるといいなと思います。白菊幼稚園の卒園児のみアフタースクールにいけるそうですが、卒園児ではない子は通えないので残念です。児童クラブでは、学習面での面倒は、みてくれないので、学校から宿題出されても、わからないところがあれば、そのままになり、家に帰宅後、時間がなく、じっくり教える暇がないです。
- ・親として、子供への関わり方、親としての対応の仕方など、妊婦の時から両親で学ぶ機会があると良い。それも、定期的に。色々な年代の子供との関わり方やスマホの対応など。2～3歳の子を「お前」と呼んだり、スーパーで大声で怒鳴ったり頭を叩く親を見ると、こちらが辛くなります。親子への心のケアが必要な人もいるのではと思います。
- ・登校するのが難しい児童生徒の受け皿となり得るフリースクール等の施設設置(既存施設との連携も可)。併せて、保護者や児童生徒が教育相談できる施設設置。
- ・下の子が中学生で、これから身体やこころの変化が本格化し、父親に話づらいことが増えてくるのではないかと心配しています。現状のスクールカウンセラー制度をさらに拡充してほしいとか、「こころの保健室」的な、こどもにとって身近に必要な時すぐに利用できるような相談窓口があるといいな、と思います。

- ・中学生の子供がおります。勉強が苦手で、親が教えてあげられないし、分かりやすいと思われる問題集買ってもしすぐ飽きてしまいます。
学校で先生に質問しづらい子や、高額な塾に通わなくても、低料金で分からない教科を気軽に教えていただける人や場所などがあれば、助かると思いました。
問題の解き方が分かれば、楽しくなると思うので、そのきっかけみたいなものを作っていただける場所があれば本当に有難いと思いました。
- ・小学校も中学校も、いじめが蔓延している。学校で対策や指導をせず、見過ごしたり隠したり、解決していない事がある。生活しやすく、学びやすい環境づくりをしてほしい。

【居場所について】

- ・仕事中に子供が熱を出した際に、家で留守番出来ない年齢の子を見てくれる場所がほしい。仕事を抜け出せない、有休がないから休めない、頼れる人も居ないなどの理由で自分が休むとなると、どうしても生活が出来なくなるので。周りは休めと簡単に言うけど、私達の生活の面倒を見ることが出来ないなら言わないでほしいから。一番わかっているのは自分達なので。これ以上心が荒みたくない。
- ・今は一定程度手が離れてることも多いので、直接的な支援は求めませんが、室蘭のきらんのような場所が登別にもあるといいな、と感じます。
- ・雨の日や、冬の時期に室内で遊べる場所があればいいなと思います。あと、登別駅や、ヌプルにAEDを設置してるのか知りたいです。設置してないならしてほしいです。
- ・雨天時にも子どもが遊べて学べる施設が必要だと思います。(室蘭市の科学館やきらんのような施設)

【その他】

- ・学校の部活動が少なくなり、やりたいと思う部活動がない。部活動が地域単位の運営へ以降しているが子ども送迎ができないので、格差を感じる。また大会に出場する際の送迎も難しく、部活動を続けることが難しい。地域単位で実施するなら送迎に関して負担がかからないようにしてほしい。
- ・室蘭は市内の子が無料で使える市の施設が多いが、登別はらくあや体育館等お金がかかるのはどうなのか？登別に住む特権や割引もない。室蘭と協議して、室蘭市の科学館やスケートリンクや水族館や栗林アリーナなど登別の子も無料や割引ありで使えるようにしてもらいたい。
- ・緑陽中には駐車場がなくて困る、行事のたびに駐車に関する注意案内がくるが、登別で1番生徒数の中学校であるので、旧教員住宅を壊すとか、土地を確保するなど、駐車場を確保してもらいたい。
- ・習い事の送迎

- ・住んでいる町には公園と言える公園がなく、学校のグラウンドでの球技くらいしか遊び場がないようです。苦小牧などには噴水があったりするような大型の公園があったりしますが、その規模でなくてももう少し遊具の充実した公園があると良いです。また通学路には歩道がない場所があり、交通量はほどほどあるのに道も悪いです。歩道は狭いので難しいかもしれませんが、子どもたちが自転車で使う道路でもあるので綺麗にして欲しいです。あと、児童館が古く狭すぎて、行きたくないと言っています。
- ・町内会が年寄りメインで参加しにくい 例えば平日昼間のマージャン大会など。昼間働いてる子育て世帯に寄り添ってるとは思えない
- ・子育てしている母親が働きやすい環境作り、仕事時間や日数など企業と一緒に支援してほしい。働いている母親が子育てしやすい環境作り、子供が過ごす場所作りや昼食の配食サービスなど。
- ・シングルマザーが働きやすい会社を増やして欲しいです。残業が毎日で、自宅に帰宅時間が遅くなり子どもと接する時間が少なくなり、仕事と家事育児の両立がとれず、自分自身の体調が悪くなり退職をすることになりました。
- ・習い事(スポーツ、塾、芸術系)させるのにお金や労力(送迎、付き添い)がかかりすぎる。もう少し市も具体的に援助してほしい。子供に能力があっても金銭、労力的に伸ばしてあげられない(習わせられない)家庭もあるのでは？